

入学定員及び募集人員

令和6年度(2024年度)入学者より、武道教育学科、スポーツ国際学科、スポーツマネジメント学科の入学定員は記載の通り変更となります。(令和5年8月30日付で収容定員変更が文部科学大臣より認可されました)

学部	学科・コース	入学定員	総合型選抜					学校推薦型選抜			一般選抜			
			トップアスリート型		課題探究型	プレゼンテーション型	運動適性型	スポーツ推薦	指定校推薦	A日程	B日程	C日程	大学入学共通テスト利用型	
			10月	2月										
体育学部	体育学科	800	120	5	150	15	20	400			90			
	健康学科	195	若干名		80	13		82			20			

学部	学科・コース	入学定員	総合型選抜					学校推薦型選抜			一般選抜			
			トップアスリート型		課題探究型	プレゼンテーション型	スポーツ推薦	指定校推薦	一般推薦	A日程	B日程	C日程	大学入学共通テスト利用型	
			10月	2月										
文化学部 スポーツ	武道教育学科	90	3	若干名	40		45				1		1	
	スポーツ国際学科	90	若干名		25	5	40			20				

※武道教育学科:入学定員80名から90名へ変更 スポーツ国際学科:入学定員100名から90名へ変更

学部	学科・コース	入学定員	総合型選抜				学校推薦型選抜				一般選抜			
			トップアスリート型		課題探究型	プレゼンテーション型	スポーツ推薦	指定校推薦	スポーツマネジメント推薦	一般推薦	A日程	B日程	C日程	大学入学共通テスト利用型
			10月											
スポーツ マネジメント学部	スポーツマネジメント学科	245	7		68	18	122			30				
	スポーツライフマネジメント学科	110	若干名		27	10	55			18				

※スポーツマネジメント学科:入学定員145名から245名へ変更

学部	学科・コース	入学定員	総合型選抜		学校推薦型選抜			一般選抜			
			課題探究型	プレゼンテーション型	スポーツ推薦	指定校推薦	一般推薦	A日程	B日程	C日程	大学入学共通テスト利用型
児童スポーツ 教育学部	児童スポーツ教育コース	120	35	5	60			20			
	幼児教育保育コース	50	19	4	25				1		1

学部	学科・コース	入学定員	総合型選抜		学校推薦型選抜			一般選抜			
			課題探究型	プレゼンテーション型	スポーツ推薦	指定校推薦	一般推薦	A日程	B日程	C日程	大学入学共通テスト利用型
保健医療 学部	整復医療学科	90	46	3	36			5			
	救急医療学科	80	45	3	28			4			

学部	学科・コース	募集人員	帰国生及び 国際バカロレア資格選抜	外国人 留学生選抜	リカレント 選抜	英語外部資格 選抜	飛び入学選抜
体育学部	体育学科	若干名	●	●	●	●	●
	健康学科		●	●	●	●	●
スポーツ文化 学部	武道教育学科		●	●	●	●	-
	スポーツ国際学科		●	●	●	●	-
スポーツ マネジメント 学部	スポーツマネジメント学科		●	●	●	●	-
	スポーツライフマネジメント学科		●	●	●	●	-
児童スポーツ 教育学部	児童スポーツ教育コース		●	-	●	●	-
	幼児教育保育コース		●	-	●	●	-
保健医療学部	整復医療学科		●	-	●	●	-
	救急医療学科		●	-	●	●	-

「スポーツマネジメント推薦」を新規実施

区分	学部	学科	出願期間	一次合格発表日	二次試験日	二次合格発表日	入学手続締切日	選考方法	試験場
マネジメントスポーツ推薦	スポーツマネジメント学部	スポーツマネジメント学科	11/1(水)～11/9(木)	11/24(金) ※書類審査	12/3(日)	12/7(木)	12/14(木)	一次選考：書類審査 二次選考：小論文(60分)個人面接(10分)	本学 (東京・世田谷キャンパス)
		スポーツライフマネジメント学科							

スポーツマネジメント学部「一般推薦」を追加実施

区分	学部	学科・コース	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日	選考方法	試験場
一般推薦	スポーツ文化学部	スポーツ国際学科	12/1(金)～12/8(金)	12/17(日)	12/21(木)	1/8(月)	書類審査 小論文(60分) 個人面接(10分)	本学 (東京・世田谷キャンパス)
	スポーツマネジメント学部	スポーツマネジメント学科						
		スポーツライフマネジメント学科						
	児童スポーツ教育学部	児童スポーツ教育コース						
		幼児教育保育コース						
	保健医療学部	整復医療学科						
救急医療学科								

推薦基準

スポーツマネジメント推薦

スポーツマネジメント学部

【スポーツマネジメント学科】

本学スポーツマネジメント学科への志望動機が明確であり、全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.0以上で、合格の際は入学を確約できる令和6年3月卒業見込みの者に限る。また、高等学校在学時に運動部や地域スポーツクラブでマネジメント活動(※)を行い、本学入学後も運動部マネジメントやクラブビジネスなどに強い関心を持つ者とする。

【スポーツライフマネジメント学科】

本学スポーツライフマネジメント学科への志望動機が明確であり、全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.0以上で、合格の際は入学を確約できる令和6年3月卒業見込みの者に限る。また、高等学校在学時に運動部や地域スポーツクラブでマネジメント活動(※)を行い、本学入学後も地域クラブマネジメントや健康マネジメントなどに強い関心を持つ者とする。

※「マネジメント活動」とは、運動部においてマネジメントスタッフ(いわゆるマネジャー)や主将・コーチを務めて運動部の運営に携わったり、地域スポーツクラブにおいてスタッフとしてクラブ運営に携わることです。

一般推薦

スポーツ文化学部

【スポーツ国際学科】

本学スポーツ国際学科への志望動機が明確であり、全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.0以上で、合格の際は入学を確約できる令和6年3月卒業見込みの者に限る。また、高等学校在学時にスポーツ活動を行い、本学入学後も日本の伝統的なスポーツ文化並びに国外のスポーツ文化に強い関心を持ち、スポーツを通じた異文化理解や国際貢献に取り組みたいと考え、スポーツ文化の価値を通じた開発支援や国際貢献に取り組み意欲を有する者とする。

スポーツマネジメント学部

【スポーツマネジメント学科】

本学スポーツマネジメント学科への志望動機が明確であり、全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.0以上で、合格の際は入学を確約できる令和6年3月卒業見込みの者に限る。また、高等学校在学時にスポーツ活動を行い、本学入学後、スポーツマネジメント学科の特性を生かしたマネジメント活動に強い関心を持つ者とする。

【スポーツライフマネジメント学科】

本学スポーツライフマネジメント学科への志望動機が明確であり、全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.0以上で、合格の際は入学を確約できる令和6年3月卒業見込みの者に限る。また、高等学校在学時にスポーツ活動を行い、本学入学後、スポーツライフマネジメント学科の特性を生かしたマネジメント活動に強い関心を持つ者とする。

児童スポーツ教育学部

【児童スポーツ教育コース】

本学児童スポーツ教育コースへの志望動機が明確であり、全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.0以上で、合格の際は入学を確約できる令和6年3月卒業見込みの者に限る。また、児童教育学及び児童・生徒の体育スポーツや健康指導・支援に強い関心を持ち、学力及び人物に優れた者とする。

【幼児教育保育コース】

本学幼児教育保育コースへの志望動機が明確であり、全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.0以上で、合格の際は入学を確約できる令和6年3月卒業見込みの者に限る。また、教育・保育の現場における乳幼児の体づくり・運動遊びや健康指導に関する適切な指導・支援が行える幼稚園教諭・保育士等を目指し、関連する実践的な技術や理論の修得に積極的に取り組もうとする意欲を有する学力及び人物に優れた者とする。

保健医療学部

【整復医療学科】

本学整復医療学科への志望動機が明確であり、全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.0以上で、合格の際は入学を確約できる令和6年3月卒業見込みの者に限る。また、柔道整復分野及びスポーツに強い関心を持ち、学力及び人物に優れた者とする。

【救急医療学科】

本学救急医療学科への志望動機が明確であり、全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.0以上で、合格の際は入学を確約できる令和6年3月卒業見込みの者に限る。また、救急医療分野及びスポーツに強い関心を持ち、学力及び人物に優れた者とする。



日本体育大学

Nippon Sport Science University

入試ガイド2024

日本体育大学では、武道教育学科、スポーツ国際学科、スポーツマネジメント学科において、令和6年度(2024年度)4月より、入学定員の変更を予定しており、収容定員変更の認可申請中です。なお、内容に変更が生じることがあります。

入学定員変更の可否、変更後の選抜区分ごとの募集人員については、結果が分かり次第、本学ホームページ(QRコード参照)及び学生募集要項で公表いたします。



INDEX

- 01 アドミッションセンター長からのメッセージ
- 02 入学定員及び募集人員
- 03 総合型選抜
- 09 学校推薦型選抜
- 11 一般選抜
- 13 特別選抜
- 15 各学部が定める3つの方針
- 20 2023年度 入試データ

ADMISSION GUIDE 2024

Message

アドミッションセンター長からのメッセージ

大学とは生涯の友をつくる場所 日体大には素晴らしい仲間が集う！

受験生の皆さん、自分の将来に向けて希望と不安を抱えながら受験活動に励んでいることと思います。数ある大学の中で日本体育大学に興味を持ち、選択肢の一つとしてこの「Admission Guide 2024」を手にとってくれたことを嬉しく思います。

皆さんは何を基準に大学を選ぶのでしょうか。学校の知名度ですか、予備校などから出される偏差値の順位ですか、それとも大学の立地や学費などでしょうか。これら全てが大学を選ぶ基準になることは間違いありませんが、私は大学を「生涯の友をつくる場所」だと考えています。社会人として自分の人生を歩んでいく前の大切な時期に、大学生活での4年間でどんな専門知識を学び、どんな人たちと出会い、苦労を共にし、喜びを分かちあったかという経験が重要だからです。その点から考えると日本体育大学はどの大学にも負けない個性的で魅力ある人たちに会える場所であると思います。

本学には教員を目指して一生懸命勉学に励む学生、クラブやサークルでのスポーツ活動を通して豊かな心を育てている学生、将来世の中のために活躍できる知識と実践力を身に付けようと頑張っている学生らが数多く在籍しています。そして自分の将来の夢に向かって一緒に頑張れる仲間やライバルに出会えます。そして親身になって学生一人ひとりを支える教職員たちも皆さんを待っています。

日本体育大学は創立132年を迎える伝統ある大学です。本学は体育やスポーツが得意でないと入学できない大学のイメージがありますが、「身体に纏わる文化と科学の総合大学」として、さまざまな立場で体育・スポーツの世界で活躍できる人材を輩出してきています。体育・スポーツに特化していることはもちろんのこと、皆さんの夢や希望、目的に合わせた5つの学部があり、それぞれに個性的な学科、領域、コースが整っています。子どもから高齢者までを対象とした教員養成及びスポーツ指導者養成、スポーツ科学やコーチングの研究、日本のスポーツ文化の探究や国際的なスポーツ交流、医療や介護の立場から人の命を救う学習など、一つでも興味のあるものがあれば、ぜひ本学への受験をトライしてほしいと思います。

入試の選抜方法としていくつかの選抜方式があります。本学の方針に共感し意欲や熱意を重視する「総合型選抜」、自分の活躍が認められ高等学校からの推薦で受験する「学校推薦型選抜」、学力試験にて合格を目指す「一般選抜」など、自分自身の能力や実績にあった選抜方法を選んで挑戦してください。この「Admission Guide 2024」に詳細な入学者選抜について説明しています。もしわからないことがあれば、本学のオープンキャンパスに参加したり、電話やメール等でアドミッションセンターまで遠慮なく連絡してください。丁寧にお答えいたします。

日本体育大学はあなたを待っています。

アドミッションセンター長

三宅 良輔

入学定員及び募集人員

※入学定員及び募集人員は変更の可能性があるため、出願時に学生募集要項を確認してください。

日本体育大学では、武道教育学科、スポーツ国際学科、スポーツマネジメント学科において、令和6年度(2024年度)4月より、入学定員の変更を予定しており、収容定員変更の認可申請中です。なお、内容に変更が生じることがあります。入学定員変更の可否、変更後の選抜区分ごとの募集人員については、結果が分かり次第、本学ホームページ及び学生募集要項で公表いたします。

学部	学科・コース	入学定員	総合型選抜				学校推薦型選抜		一般選抜				
			トップアスリート型		課題探究型	プレゼンテーション型	運動適性型	スポーツ推薦	指定校推薦	A日程	B日程	C日程	大学入学共通テスト利用型
			10月	2月									
体育学部	体育学科	800	120	5	150	15	20	400		90			
	健康学科	195	若干名		80	13		82		20			

学部	学科・コース	入学定員	総合型選抜			学校推薦型選抜			一般選抜				
			トップアスリート型		課題探究型	プレゼンテーション型	スポーツ推薦	指定校推薦	一般推薦	A日程	B日程	C日程	大学入学共通テスト利用型
			10月	2月									
文化学部	武道教育学科		収容定員変更に係る認可申請中										
スポーツ学部	スポーツ国際学科		武道教育学科:入学定員80名から90名へ変更 スポーツ国際学科:入学定員100名から90名へ変更										

学部	学科・コース	入学定員	総合型選抜			学校推薦型選抜		一般選抜				
			トップアスリート型		課題探究型	プレゼンテーション型	スポーツ推薦	指定校推薦	A日程	B日程	C日程	大学入学共通テスト利用型
			10月	2月								
スポーツ学部	スポーツマネジメント学科		収容定員変更に係る認可申請中									
スポーツ学部	スポーツライフマネジメント学科	110	若干名	25	10	55		20				

学部	学科・コース	入学定員	総合型選抜		学校推薦型選抜			一般選抜			
			課題探究型	プレゼンテーション型	スポーツ推薦	指定校推薦	一般推薦	A日程	B日程	C日程	大学入学共通テスト利用型
児童スポーツ教育学部	児童スポーツ教育コース	120	35	5	60			20			
	幼児教育保育コース	50	19	4	25				1		1

学部	学科・コース	入学定員	総合型選抜		学校推薦型選抜			一般選抜			
			課題探究型	プレゼンテーション型	スポーツ推薦	指定校推薦	一般推薦	A日程	B日程	C日程	大学入学共通テスト利用型
保健医療学部	整復医療学科	90	46	3	36			5			
	救急医療学科	80	45	3	28			4			

学部	学科・コース	募集人員	帰国生及び国際バカロレア資格選抜	外国人留学生選抜	リカレント選抜	英語外部資格選抜	飛び入学選抜
体育学部	体育学科	若干名	●	●	●	●	●
	健康学科		●	●	●	●	●
スポーツ文化学部	武道教育学科		●	●	●	●	-
	スポーツ国際学科		●	●	●	●	-
スポーツマネジメント学部	スポーツマネジメント学科		●	●	●	●	-
	スポーツライフマネジメント学科		●	●	●	●	-
児童スポーツ教育学部	児童スポーツ教育コース		●	-	●	●	-
	幼児教育保育コース		●	-	●	●	-
保健医療学部	整復医療学科		●	-	●	●	-
	救急医療学科		●	-	●	●	-

※令和5年7月中旬(予定)本学HPより学生募集要項をダウンロードできます。

課題探究型

競技実績不問、将来の展望や学びの目的をアピール

学部	学科・コース	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日	選考方法	試験場
体育学部	体育学科	9/1 (金) ～ 9/21 (木)	10/15 (日)	11/1 (水)	11/15 (水)	書類審査 総合考査 (60分) 個人面接 (10分) (※1) 受験者は面接の 冒頭で自己PR (2分以内)を行 うこととする。 実技試験 (※2)	本学 (東京・世田谷 キャンパス)
	健康学科						
スポーツ文化 学部	武道教育学科						
	スポーツ国際学科						
スポーツ マネジメント 学部	スポーツマネジメント学科						
	スポーツライフマネジメント学科						
児童スポーツ 教育学部	児童スポーツ教育コース		10/14 (土)				
	幼児教育保育コース						
保健医療学部	整復医療学科						
	救急医療学科						

※1: スポーツ国際学科は自己PRを英語で行う。(面接は日本語で行う)。 ※2: 実技試験は武道教育学科のみ実施。(動画提出)

POINT! 総合考査とは、論述形式をとり、各種資料に対する理解力、文章構成・表現力、分析力等を総合的な視点から考査するものです。出願学科(コース)の特性を十分に理解し、関連する資料(データや記事等)を積極的に収集し、これを読み解く力を備えてください。

過去問題

<https://www.nittai.ac.jp/exam/com/kakomon.html>



プレゼンテーション型

競技実績不問、将来の展望や学びの目的をアピール

学部	学科・コース	出願期間	一次合格発表日	二次試験日	二次合格発表日	入学手続締切日	選考方法	試験場	
体育学部	体育学科	11/1 (水) ～ 11/9 (木)	11/24 (金) ※書類審査	12/2 (土)	12/7 (木)	12/14 (木)	一次選考: 書類審査 二次選考: プレゼン テーション	本学 (東京・世田谷 キャンパス)	
	健康学科								
スポーツ文化 学部	スポーツ国際学科								
スポーツ マネジメント 学部	スポーツマネジメント学科								
	スポーツライフマネジメント学科								
児童スポーツ 教育学部	児童スポーツ教育コース								11/24 (金) ～ 11/9 (木)
	幼児教育保育コース								
保健医療学部	整復医療学科								
	救急医療学科								

POINT! プレゼンテーションとは、出題された課題に対して、自分で調べたり考えたりして資料を作成し、それに基づいて発表を行うことです。本選抜では、学科・コースごとに特色のある問題を出題し、一次選考でプレゼンテーション資料の評価を行い、二次選考で実際のプレゼンテーションによる内容の評価を行います。課題内容は、学生募集要項にて周知する予定です(7月中旬公開予定)。

出願要件 次の各学科が掲げる要件を全て満たしている者とする。

体育学部	<p>体育学科</p> <p>次の(1)～(4)の要件を満たしている者とする。</p> <p>(1)本学体育学科への志望動機が明確で、第一志望であること。(2)学業成績は原則として全体の学習成績の状況(評定平均値)3.0以上であること。(3)学科・領域の特色を熟知し、明確な学修意欲がある者。(4)スポーツへの関心が極めて高く、将来、次のいずれかにおいて、社会で活躍・貢献しようという強い希望のある者。</p> <p>①高度な知識と実践力を有した保健体育教員を目指し、スポーツ教育学及び関連する理論の修得やさまざまな実習を通じて、学校教育に貢献しようとする意欲を有する者。 ②高度な知識と実践力を有したスポーツコーチを目指し、コーチング学及び関連する理論の修得やさまざまな実習を通じて、スポーツの競技力向上に貢献しようとする意欲を有する者。 ③高度な知識と実践力を有したアスレティックトレーナーを目指し、アスレティックトレーニング学及び関連する理論の修得やさまざまな実習を通じて、スポーツ選手の身体管理に貢献しようとする意欲を有する者。</p>
	<p>健康学科</p> <p>次の(1)～(4)の要件を満たしている者とする。</p> <p>(1)本学健康学科への志望動機が明確で、第一志望であること。(2)学業成績は原則として全体の学習成績の状況(評定平均値)3.0以上であること。(3)学科・領域の特色を熟知し、明確な学修意欲がある者。(4)スポーツへの関心が極めて高く、健康で豊かな暮らしの実現に向けて、スポーツ医学と教育、福祉、保健との連携に基づいた専門的な知識や技術を用い、将来、次のいずれかにおいて、社会で活躍・貢献しようという強い希望のある者。</p> <p>①学校の保健計画や環境衛生を整え、健康診断や救急処置、学校給食、健康相談、健康教育などの相談や指導・支援に取り組む者。 ②職場の環境衛生を整え、腰痛予防その他の運動プログラムを用いて健康増進の相談や指導・支援に取り組む者。 ③成人がかかりやすい生活習慣病の予防や健康水準を整え、各人に適した運動の実施などの相談や指導・支援に取り組む者。 ④福祉の支援を必要とする人たちの生活環境を整え、教育・保健・医療・介護の機関と協働して相談や指導・支援に取り組む者。</p>
スポーツ文化学部	<p>武道教育学科</p> <p>次の(1)～(4)の要件を満たしている者とする。</p> <p>(1)本学武道教育学科への志望動機が明確で、第一志望であること。(2)学業成績は原則として全体の学習成績の状況(評定平均値)3.0以上であること。(3)学科の特色を熟知し、明確な学修意欲がある者。(4)武道(含伝統芸能)への関心が極めて高く、将来、次のいずれかにおいて、国の内外問わず社会で活躍・貢献しようという強い希望のある者。</p> <p>①武道の分野で優れた資質を有し、その資質の更なる向上を本学において目指す者。 ②伝統芸能・民俗芸能の分野で優れた資質を有し、その資質の更なる向上を本学において目指す者。</p>
	<p>スポーツ国際学科</p> <p>次の(1)～(4)の要件を満たしている者とする。</p> <p>(1)本学スポーツ国際学科への志望動機が明確で、第一志望であること。(2)学業成績は原則として全体の学習成績の状況(評定平均値)3.0以上であること。(3)学科の特色を熟知し、明確な学修意欲がある者。(4)スポーツへの関心が極めて高く、国際協力・国際交流・開発援助を促進するための知識や技術を養い、将来、国際社会の中で日本の精神文化に立脚したスポーツ指導を實踐し、国の内外問わず社会貢献をしようという強い希望のある者。</p>
スポーツマネジメント学部	<p>スポーツマネジメント学科</p> <p>次の(1)～(4)の要件を満たしている者とする。</p> <p>(1)本学スポーツマネジメント学科への志望動機が明確で、第一志望であること。(2)学業成績は原則として全体の学習成績の状況(評定平均値)3.0以上であること。(3)学科の特色を熟知し、明確な学修意欲がある者。(4)スポーツをマネジメントすることへの関心が極めて高く、将来、次のいずれかにおいて、社会で活躍・貢献しようという強い希望のある者。</p> <p>①多様なスポーツ事業にビジネスチャンスを見つけ出し、スポーツの奨励・促進のための活動を支援することでスポーツ産業の発展に貢献する意欲を有すること。 ②スポーツ関係機関・団体の各種スポーツ関連施策・事業をマネジメントすることで新たな価値の創出を目指し、社会に貢献する意欲を有すること。</p>
	<p>スポーツライフマネジメント学科</p> <p>次の(1)～(4)の要件を満たしている者とする。</p> <p>(1)本学スポーツライフマネジメント学科への志望動機が明確で、第一志望であること。(2)学業成績は原則として全体の学習成績の状況(評定平均値)3.0以上であること。(3)学科の特色を熟知し、明確な学修意欲がある者。(4)人々のスポーツライフに関するマネジメントについての関心が極めて高く、将来、次のいずれかにおいて、社会で活躍・貢献しようという強い希望のある者。</p> <p>①ライフステージに応じてスポーツや運動を処方し、競技スポーツだけでなく健康スポーツを自ら示範して指導することができる専門家として、学校や地域で活躍し、社会に貢献する意欲を有すること。 ②レクリエーション活動や野外活動などを通じて、スポーツを基盤としたコミュニティを形成することのできる専門家として、その能力を職場や地域で活かし、社会に貢献する意欲を有すること。</p>
児童スポーツ教育学部	<p>児童スポーツ教育学科</p> <p>次の(1)～(4)の要件を満たしている者とする。</p> <p>(1)本学児童スポーツ教育学科への志望動機が明確で、第一志望であること。(2)学業成績は原則として全体の学習成績の状況(評定平均値)3.0以上であること。(3)学科・コースの特色を熟知し、明確な学修意欲がある者。(4)児童スポーツ教育学及びスポーツへの関心が極めて高く、将来、次のいずれかにおいて、社会で活躍・貢献しようという強い希望のある者。</p> <p>児童スポーツ教育コース 学校現場や地域における児童・生徒の体育スポーツや健康に関する適切な指導・教育・保育の現場における乳幼児の体づくり・運動遊びや健康指導に関する適切な支援が行える小学校教諭、中学校教諭等を目指し、関連する実践的な技術や理論の修得に積極的に取り組もうとする意欲を有する者。</p> <p>幼児教育保育コース 教育・保育の現場における乳幼児の体づくり・運動遊びや健康指導に関する適切な支援が行える幼稚園教諭・保育士等を目指し、関連する実践的な技術や理論の修得に積極的に取り組もうとする意欲を有する者。</p>
	<p>整復医療学科</p> <p>次の(1)～(7)の要件を満たしている者とする。</p> <p>(1)本学整復医療学科への志望動機が明確で、スポーツに関心を持ち、第一志望であること。(2)学業成績は原則として全体の学習成績の状況(評定平均値)3.0以上であること。(3)学科の特色を熟知し、明確な学修意欲がある者。(4)柔道整復師の業務を理解し、将来この資格を活かして社会で貢献・活躍しようという強い希望のある者。(5)向上心を持ち、整復医療の知識・技術の習得に積極的な者。(6)人間の生命、人間としての尊厳を尊重し、将来高い倫理観と科学的思考を備えて社会の規範になろうとする者。(7)社会の一員として、自分の行動に責任を持ち、多様性を尊重し、思いやりの心を有する者。</p>
保健医療学部	<p>救急医療学科</p> <p>次の(1)～(7)の要件を満たしている者とする。</p> <p>(1)本学救急医療学科への志望動機が明確で、スポーツに関心を持ち、第一志望であること。(2)学業成績は原則として全体の学習成績の状況(評定平均値)3.0以上であること。(3)学科の特色を熟知し、明確な学修意欲がある者。(4)救急救命士の業務を理解し、将来この資格を活かして社会で貢献・活躍しようという強い希望のある者。(5)向上心を持ち、救急医療の知識・技術の習得に積極的な者。(6)人間の生命、人間としての尊厳を尊重し、将来高い倫理観と科学的思考を備えて社会の規範になろうとする者。(7)社会の一員として、自分の行動に責任を持ち、多様性を尊重し、思いやりの心を有する者。</p>

※令和5年7月中旬(予定)本学HPより学生募集要項をダウンロードできます。

トップアスリート(競技実績)型10月

競技実績でチャレンジ

学部	学科	出願期間	一次合格発表日	二次試験日	二次合格発表日	入学手続締切日	選考方法	試験場
体育学部	体育学科	9/1 (金) ～ 9/14 (木)	10/2 (月) ※書類審査	10/14 (土)	11/1 (水)	11/15 (水)	一次選考: 書類審査 二次選考: 小論文 (60分) 集団面接 (10分)	本学 (東京・世田谷 キャンパス)
	健康学科							
スポーツ文化学部	武道教育学科							
	スポーツ国際学科							
スポーツマネジメント学部	スポーツマネジメント学科							
	スポーツライフマネジメント学科							

トップアスリート(競技実績)型2月

競技実績でチャレンジ

学部	学科	出願期間	一次合格発表日	二次試験日	二次合格発表日	入学手続締切日	選考方法	試験場
体育学部	体育学科	1/9 (火) ～ 1/16 (火)	1/25 (木) ※書類審査	2/2 (金)	2/9 (金)	2/15 (木)	一次選考: 書類審査 二次選考: 小論文 (60分) 集団面接 (10分)	本学 (東京・世田谷 キャンパス)
スポーツ文化学部	武道教育学科							

対象競技種目 対象となる競技種目は下記の通りとなります。

No	競技種目名(本学学生会団体)	男子	女子	No	競技種目名(本学学生会団体)	男子	女子	No	競技種目名(本学学生会団体)	男子	女子
1	陸上競技	●	●	15	卓球	●	●	29	柔道※	●	●
2	体操競技	●	●	16	レスリング	●	●	30	剣道※	●	●
3	水泳	●	●	17	フェンシング	●	●	31	相撲※	●	●
4	バレーボール	●	●	18	ボクシング	●	●	32	軟式野球	●	●
5	バスケットボール	●	●	19	スキー	●	●	33	自転車競技	●	●
6	ハンドボール	●	●	20	スケート	●	●	34	トライアスロン	●	●
7	ラグビー	●	●	21	ウエイトリフティング	●	●	35	ラクロス	●	●
8	サッカー	●	●	22	アーチェリー	●	●	36	ライフセービング	●	●
9	アメリカンフットボール	●	●	23	ゴルフ	●	●	37	新体操	●	●
10	硬式野球	●	●	24	トランポリン競技	●	●	38	チアリーディング(チアリーダー部)	●	●
11	ソフトボール	●	●	25	カヌー	●	●	39	グラウンドホッケー(ホッケー部)	●	●
12	バドミントン	●	●	26	空手道※	●	●	40	近代五種競技	●	●
13	ソフトテニス	●	●	27	少林寺拳法※	●	●	41	山岳・スポーツクライミング	●	●
14	硬式テニス(テニス部)	●	●	28	ボート	●	●				

※空手道、少林寺拳法、柔道、剣道、相撲は、武道教育学科のみ出願可とし、武道教育学科は、他の種目では出願できません。

過去問題

<https://www.nittai.ac.jp/exam/com/kakomon.html>



出願要件

次の(1)～(4)の要件を全て満たしている者とする。

- 本学体育学部(志望学科)への志望動機が明確で、かつ本学部での就学意欲が高く、第一志望であること。
- スポーツの分野で、社会に貢献する意欲を有すること。
- スポーツの分野で、極めて優れた競技力を有し、本学入学後も本学学生会団体に所属し、当該競技を継続し、その競技力の更なる向上を本学において目指す者。
- 令和3年4月1日以降の競技成績が以下のいずれかに該当する者とする。

体育学部

個人競技種目

- 世界選手権等の国際大会の代表選手に選出された実績をもつ者。
- 全国高等学校総合体育大会、国民体育大会、全日本選手権大会及びこれらに準じる規模の日本の全国大会(定時制及び通信制等の大会は除く)で、第8位以内の入賞者、全国ランキング(高等学校ランキング含む)第8位以内の実績を有し、特に優れ将来性のある者。
- 中央競技団体等が認定する強化指定選手である者。

団体競技種目

- 世界選手権等の国際大会の代表選手に選出された実績をもつ者。
- 全国高等学校総合体育大会、国民体育大会、全日本選手権大会及びこれらに準じる規模の日本の全国大会(定時制及び通信制等の大会は除く)で、第8位以内の入賞したチームで選手として試合に出場し、特に優れ将来性のある者。
- 中央競技団体等が認定する強化指定選手である者。

次の(1)～(4)の要件を全て満たしている者とする。

- 本学スポーツ文化学部(志望学科)への志望動機が明確で、かつ本学部での就学意欲が高く、第一志望であること。
- スポーツまたは武道の分野で、社会に貢献する意欲を有すること。
- スポーツまたは武道の分野で、極めて優れた競技力を有し、本学入学後も本学学生会団体に所属し、当該競技を継続し、その競技力の更なる向上を本学において目指す者。
- 令和3年4月1日以降の競技成績が以下のいずれかに該当する者とする。

スポーツ文化学部

個人競技種目

- 世界選手権等の国際大会の代表選手に選出された実績をもつ者。
- 全国高等学校総合体育大会、国民体育大会、全日本選手権大会及びこれらに準じる規模の日本の全国大会(定時制及び通信制等の大会は除く)で、第8位以内の入賞者、全国ランキング(高等学校ランキング含む)第8位以内の実績を有し、特に優れ将来性のある者。
- 中央競技団体等が認定する強化指定選手である者。

団体競技種目

- 世界選手権等の国際大会の代表選手に選出された実績をもつ者。
- 全国高等学校総合体育大会、国民体育大会、全日本選手権大会及びこれらに準じる規模の日本の全国大会(定時制及び通信制等の大会は除く)で、第8位以内の入賞したチームで選手として試合に出場し、特に優れ将来性のある者。
- 中央競技団体等が認定する強化指定選手である者。

次の(1)～(4)の要件を全て満たしている者とする。

- 本学スポーツマネジメント学部(志望学科)への志望動機が明確で、かつ本学部での就学意欲が高く、第一志望であること。
- スポーツの分野で、社会に貢献する意欲を有すること。
- スポーツの分野で、極めて優れた競技力を有し、本学入学後も本学学生会団体に所属し、当該競技を継続し、その競技力の更なる向上を本学において目指す者。
- 令和3年4月1日以降の競技成績が以下のいずれかに該当する者とする。

スポーツマネジメント学部

個人競技種目

- 世界選手権等の国際大会の代表選手に選出された実績をもつ者。
- 全国高等学校総合体育大会、国民体育大会、全日本選手権大会及びこれらに準じる規模の日本の全国大会(定時制及び通信制等の大会は除く)で、第16位以内の入賞者、全国ランキング(高等学校ランキング含む)第16位以内の実績を有し、特に優れ将来性のある者。
- 中央競技団体等が認定する強化指定選手である者。

団体競技種目

- 世界選手権等の国際大会の代表選手に選出された実績をもつ者。
- 全国高等学校総合体育大会、国民体育大会、全日本選手権大会及びこれらに準じる規模の日本の全国大会(定時制及び通信制等の大会は除く)で、第16位以内の入賞したチームで選手として試合に出場し、特に優れ将来性のある者。
- 中央競技団体等が認定する強化指定選手である者。

運動適性型

競技実績不問、運動能力でチャレンジ

学部	学科	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日	選考方法	試験場
体育学部	体育学科	9/1 (金) ～ 9/21 (木)	10/22 (日)	11/1 (水)	11/15 (水)	書類審査 実技試験 (5種目) 集団面接 (10分)	本学 (東京・世田谷 キャンパス)

※実技試験は、総合点または種目ごとの上位者を合格対象者とする。

出願要件

次の(1)～(5)に掲げる要件を全て満たしている者とする。

- 1) 本学体育学科への志望動機が明確で、第一志望であること。
- 2) 学業成績は全体の学習成績の状況(評定平均値)3.0以上であること。
- 3) 本学入学後もスポーツ活動を継続する意欲がある者。
- 4) 学科・領域の特色を熟知し、明確な学修意欲がある者。
- 5) 競技力向上への関心が極めて高く、将来、次のいずれかにおいて、社会で活躍・貢献しようという強い希望のある者。
 - ① 高度な知識と実践力とを有した保健体育教員を目指し、スポーツ教育学及び関連する理論の修得やさまざまな実習を通じて、学校教育に貢献しようとする意欲を有する者。
 - ② 高度な知識と実践力とを有したスポーツコーチを目指し、コーチング学及び関連する理論の修得やさまざまな実習を通じて、スポーツの競技力向上に貢献しようとする意欲を有する者。
 - ③ 高度な知識と実践力とを有したアスレティックトレーナーを目指し、アスレティックトレーニング学及び関連する理論の修得やさまざまな実習を通じて、スポーツ選手の身体管理に貢献しようとする意欲を有する者。

実技種目紹介

参考動画を以下URLからご確認ください。

<https://www.nittai.ac.jp/exam/com/undoh.html>



・加速走

50mの距離を走り、20m地点から50m地点の区間のタイムを計測する種目です。

・立ち5段跳び

助走無しの状態から片足交互に7回連続で跳躍し、5回目までの距離を計測する種目です。

・メディシンボール投げ

男子4kg、女子3kgのメディシンボールを後ろ投げにて投げ、飛距離を計測する種目です。

・20mシャトルラン

徐々に間隔が短くなるテンポに合わせて、20mの距離を往復し、折り返しの総回数を計測する種目です。

・3コーンドリル

5ヤード(約4.57m)間隔に設置されたコーンを指定された順番に走り、要する時間を計測する種目です。詳細は参考動画をご確認ください。

総合型選抜対策のポイント

総合型選抜は自身の意欲や熱意をアピールする選抜です。各選抜の試験科目の対策を進めるにおいても志望学科・コースの特色をしっかりと理解した上で、対策を進めないといけません。

そこで、皆さんが志望学部・学科・コースのことをより深く知ることができる方法を紹介します。

case. 01 オープンキャンパスに参加しよう

▶「日本体育大学」について理解を深めたいなら

●大学紹介「日体大ってどんな大学？」

各学部の特徴や講義内容など、日本体育大学がどんな大学なのかを具体的に細かく紹介します。開催日ごとに重点学部が設定されている時もあるので、ホームページを事前にチェックしておきましょう。

●日体大キャンパスツアー

現役の日体大生の案内でキャンパスをまわります。所要時間は30分程度です。日体大が誇る実技施設の数々は圧巻です。見てみたい施設を事前にチェックし、開催日と合わせて会場にきてください。

▶入学者選抜情報が知りたいなら

●入学者選抜説明会(総合型選抜、学校推薦型選抜)

選抜方式それぞれの説明と最新の受験情報を紹介します。「入試のポイントがよくわかる」と、参加者から好評です。

▶講義内容やキャンパスライフについて興味があるなら

●体験授業

学部の名称や説明を読んでも、どんなことを学ぶのかいまいちわからない人は少なくありません。そこで、各学部の学問領域がよくわかる体験授業を用意しています。専門的知識や科学的根拠を基に実践していくのが大学の体育・スポーツ。ぜひ、この機会に大学での講義を体験してみてください。事前予約は不要です。
※体験授業は開催日によって内容が変わります。詳しくは日体大サイト「オープンキャンパス」でご確認ください。

●トークショー

定期的に様々なテーマで開催しています。現役の日体大生数名が登場し、進行役の質問に答える形でディスカッションを展開。在校生の生の意見や考えに触れることができます。入学者選抜の対策や合格の秘訣も聞くことができます。会場のゲストからの質問も受け付けますから、知りたいことがある人にはチャンスです。

▶いろいろ相談したいなら

●先生と話そう

学部・学科の授業内容や特色について、直接先生から話を聞くことができます。魅力的な日体大の先生たちが、あなたの疑問・質問にお答えすべくお待ちしています。

●にったいセンパイ広場

入学者選抜、部活、大学生活など、日体大の先輩もあなたと同じようなことで悩んだり、不安になったりしてきたはず。この機会に気になっていること、心配なことなどについて、ぜひ先輩たちに尋ねてみてください。

case. 02 大学案内(Guide Book 2024)を読み込もう

大学案内には、本学の建学の精神や、ミッション・ビジョン、学長や本学教員のメッセージが掲載され、日本体育大学のことを知るために必要な情報が充実しています。また各学部・学科の紹介ページでは、各学部・学科の特色や授業内容が記載されており、理解を深めるには重要な資料となっております。その他、学生生活の紹介案内や就職状況等も確認できます。

case. 03 大学のホームページを活用しよう

大学のホームページは、リアルタイムで情報が更新されていきます。本学の社会貢献に関する取り組みや、他団体との連携、現役学生の活動報告等々、最新の情報を発信しております。面接試験やレポート課題の参考になる内容もあるかもしれません。

またシラバス照会を行えば、授業内容の概要が確認できます。『トップページ → 学部・大学院 → シラバス → 日本体育大学シラバス』へアクセスし、『NSSU passportのゲストユーザー』から科目名を検索すれば、どのような内容の授業を行っているかが確認できます。志望学部・学科の学びの内容を理解することは大事なことです。是非活用してみてください。

学校推薦型選抜



※令和5年7月中旬(予定)本学HPより学生募集要項をダウンロードできます。

区分	学部	学科・コース	出願期間	一次合格発表日	二次試験日	二次合格発表日	入学手続締切日	選考方法	試験場
スポーツ推薦	体育学部	体育学科	11/1 (水) ～ 11/9 (木)	11/24 (金) ※書類審査	12/3 (日)	12/7 (木)	12/14 (木)	一次選考: 書類審査 二次選考: 小論文 (60分) 集団面接 (10分)	本学 (東京・世田谷 キャンパス)
		健康学科							
	スポーツ文化学部	武道教育学科							
		スポーツ国際学科							
	スポーツマネジメント学部	スポーツマネジメント学科							
		スポーツライフマネジメント学科							
	児童スポーツ教育学部	児童スポーツ教育コース							
幼児教育保育コース									
保健医療学部	整復医療学科								
	救急医療学科								

区分	学部	学科・コース	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日	選考方法	試験場
指定校推薦	体育学部	体育学科	11/1 (水) ～ 11/9 (木)	12/3 (日)	12/7 (木)	12/14 (木)	書類審査 小論文 (60分) 集団面接 (10分)	本学 (東京・世田谷 キャンパス)
		健康学科						
	スポーツ文化学部	武道教育学科						
		スポーツ国際学科						
	スポーツマネジメント学部	スポーツマネジメント学科						
		スポーツライフマネジメント学科						
	児童スポーツ教育学部	児童スポーツ教育コース						
幼児教育保育コース								
保健医療学部	整復医療学科							
	救急医療学科							

区分	学部	学科・コース	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日	選考方法	試験場
一般推薦	スポーツ文化学部	スポーツ国際学科	12/1 (金) ～ 12/8 (金)	12/17 (日)	12/21 (木)	1/8 (月)	書類審査 小論文 (60分) 個人面接 (10分)	本学 (東京・世田谷 キャンパス)
		児童スポーツ教育学部						
	保健医療学部	整復医療学科						
		救急医療学科						

過去問題

<https://www.nittai.ac.jp/exam/com/kakomon.html>



推薦基準

スポーツ推薦

体育学部 スポーツ文化学部 スポーツマネジメント学部 保健医療学部

次の(1)～(4)に掲げる要件を全て満たしている者とする。

- 本学志望学部(志望学科)への志望動機が明確であり、合格の際は入学を確約できる者。
- 学業成績は原則として全体の学習成績の状況(評定平均値)3.0以上であること。
- 本学入学後も競技を継続し、その競技力の更なる向上を目指す者。但し、スポーツ文化学部武道教育学科に出願する者は、本学入学後に本学学友会団体に所属し、当該競技を継続し、その競技力の更なる向上を本学において目指す者とする。
- 令和3年4月1日以降の競技成績が、以下のいずれかに該当する者。
 - 世界選手権等の国際大会の代表選手に選出された実績をもつ者。
 - スポーツ競技大会(全国高校総体、国体、全国選手権等の規模以上の日本の大会とし、定時制及び通信制等の全国大会の成績は含まない)に選手として出場した者。
 - 中央競技団体等が認定する強化指定選手である者。

児童スポーツ教育学部

次の(1)～(5)に掲げる要件を全て満たしている者とする。

- 本学児童スポーツ教育学部(志望コース)への志望動機が明確であり、合格の際は入学を確約できる者。
- 学業成績は原則として全体の学習成績の状況(評定平均値)3.0以上であること。
- 4年間で教員免許や資格を取得するには、教育実習や保育実習等の実習が複数あるため、学業と競技の両方をしっかりと図るよう心がけることができる者。
- 本学入学後も競技を継続し、その競技力の更なる向上を目指す者。
- 令和3年4月1日以降の競技成績が、以下のいずれかに該当する者。
 - 世界選手権等の国際大会の代表選手に選出された実績をもつ者。
 - スポーツ競技大会(全国高校総体、国体、全国選手権等の規模以上の日本の大会とし、定時制及び通信制等の全国大会の成績は含まない)に選手として出場した者。
 - 中央競技団体等が認定する強化指定選手である者。

指定校推薦

体育学部 スポーツ文化学部 スポーツマネジメント学部 児童スポーツ教育学部 保健医療学部

指定校推薦は、本学が指定する学校による推薦に基づく入学選抜です。公募制ではありません。詳細については、指定する高等学校長に別途連絡いたしますので、在学中の高等学校にてご確認ください。

一般推薦

スポーツ文化学部

【スポーツ国際学科】

本学スポーツ国際学科への志望動機が明確であり、全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.0以上で、合格の際は入学を確約できる令和6年3月卒業見込みの者に限る。
また、高等学校在学時にスポーツ活動を行い、本学入学後も日本の伝統的なスポーツ文化並びに国外のスポーツ文化に強い関心を持ち、スポーツを通じた異文化理解や国際貢献に取り組みたいと考え、スポーツ文化の価値を通じた開発支援や国際貢献に取り組み意欲を有する者とする。

児童スポーツ教育学部

【児童スポーツ教育コース】

本学児童スポーツ教育コースへの志望動機が明確であり、全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.0以上で、合格の際は入学を確約できる令和6年3月卒業見込みの者に限る。
また、児童教育学及び児童・生徒の体育スポーツや健康指導・支援に強い関心を持ち、学力及び人物に優れた者とする。

【幼児教育保育コース】

本学幼児教育保育コースへの志望動機が明確であり、全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.0以上で、合格の際は入学を確約できる令和6年3月卒業見込みの者に限る。
また、教育・保育の現場における乳幼児の体づくり・運動遊びや健康指導に関する適切な指導・支援が行える幼稚園教諭・保育士等を目指し、関連する実践的な技術や理論の修得に積極的に取り組もうとする意欲を有する学力及び人物に優れた者とする。

保健医療学部

【整復医療学科】

本学整復医療学科への志望動機が明確であり、全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.0以上で、合格の際は入学を確約できる令和6年3月卒業見込みの者に限る。
また、柔道整復分野及びスポーツに強い関心を持ち、学力及び人物に優れた者とする。

【救急医療学科】

本学救急医療学科への志望動機が明確であり、全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.0以上で、合格の際は入学を確約できる令和6年3月卒業見込みの者に限る。
また、救急医療分野及びスポーツに強い関心を持ち、学力及び人物に優れた者とする。



学校推薦型選抜は、高等学校長からの推薦があってはじめて出願ができる選抜区分です。出願を考えている場合は、早めに高等学校の先生に相談しましょう。また自分の高等学校が指定校になっているかは進路指導部の先生に確認してください。志望学部・学科(コース)での学びの内容をしっかりと理解して、入学後の学修、将来の目標等も考えて、小論文試験や面接試験の対策を進めてください。

一般選抜



※令和5年12月上旬(予定)本学HPより学生募集要項をダウンロードできます。

A日程・B日程・C日程・大学入学共通テスト利用型

学部	学科・コース	出願期間	試験日				合格発表日	入学手続締切日	試験場
			A日程	B日程	C日程	大学入学共通テスト利用型			
			2/1(木)	2/2(金)	2/3(土)				
体育学部	体育学科	12/18(月)~1/10(水)	●	●	●	●	2/9(金)	2/15(木)	本学 (東京・世田谷キャンパス) 札幌 高崎 名古屋 大阪
	健康学科		●	●	●	●			
スポーツ文化学部	武道教育学科		-	●	-	●			
	スポーツ国際学科		●	●	●	●			
スポーツマネジメント学部	スポーツマネジメント学科		●	●	●	●			
	スポーツライフマネジメント学科		●	●	●	●			
児童スポーツ教育学部	児童スポーツ教育コース		●	●	●	●			
	幼児教育保育コース		-	●	-	●			
保健医療学部	整復医療学科		●	●	●	●			
	救急医療学科		●	●	●	●			

※A日程において、体育学部・スポーツ文化学部・スポーツマネジメント学部の同一日併願可(学内併願不可)。

選考方法

学部	学科・コース	大学入学共通テスト利用型											
		A・B・C日程				大学入学共通テスト						本学での試験	
		国語	外国語	実技試験※1	面接試験	国語	外国語	地理歴史・公民※2	数学※2	理科※2	実技試験※1	面接試験	
体育学部	体育学科	●	●	-	-	●	●	●	●	●	-	-	
	健康学科	●	●	-	-	●	●	●	●	●	-	-	
スポーツ文化学部	武道教育学科	●	●	●	-	●	●	●	●	●	●	-	
	スポーツ国際学科	●	●	-	-	●	●	●	●	●	-	-	
スポーツマネジメント学部	スポーツマネジメント学科	●	●	-	-	●	●	●	●	●	-	-	
	スポーツライフマネジメント学科	●	●	-	-	●	●	●	●	●	-	-	
児童スポーツ教育学部	児童スポーツ教育コース	●	●	-	-	●	●	●	●	●	-	-	
	幼児教育保育コース	●	●	-	-	●	●	●	●	●	-	-	
保健医療学部	整復医療学科	●	●	-	●	●	●	-	●	●	-	●	
	救急医療学科	●	●	-	●	●	●	-	●	●	-	●	

※1 実技試験は武道教育学科のみ実施。(動画提出) ※2 高得点の科目を採用する。・理科の「基礎を付した科目」は、2科目あわせて1科目として扱う。

A・B・C日程	筆記試験(60分)	国語:国語総合(古典を除く)	各100点(合計200点)
	マークシート方式	外国語:英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	
	実技試験(動画提出) ※武道教育学科のみ	柔道・剣道・相撲・空手道・少林寺拳法・合気道・弓道・なぎなた・伝統芸能のうち各自が選択した種目で行う。	本学武道教育学科の学生としての適性を判断する。
面接試験 ※保健医療学部のみ	集団面接(10分)	本学保健医療学部の学生としての適性を判断する。	

大学入学共通テスト利用型	必須	国語	「国語」	近代以降の文章のみ	各100点(合計300点)
	選択	外国語	「英語」	リーディングのみ	
		地理歴史・公民※	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理・政治・経済」	・高得点の1科目を採用する。 ・理科の「基礎を付した科目」は、2科目あわせて1科目として扱う。	
数学		「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」			
理科	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」				
実技試験(動画提出) ※武道教育学科のみ	柔道・剣道・相撲・空手道・少林寺拳法・合気道・弓道・なぎなた・伝統芸能のうち各自が選択した種目で行う。	本学武道教育学科の学生としての適性を判断する。			
面接試験 ※保健医療学部のみ	集団面接(10分)	本学保健医療学部の学生としての適性を判断する。			

※保健医療学部は、「地理歴史・公民」を除く。
保健医療学部 面接試験について(詳細については、学生募集要項をご確認ください)。
<A・B・C日程・大学入学共通テスト利用型を併願(他学部含む)する場合>
・試験日は受験票で通知し、筆記試験終了後に面接を実施する。
本学会場:集団面接(対面) サテライト会場:集団面接(オンライン)
・保健医療学部の同一学科を併願する場合の面接は1回のみ実施する。
<大学入学共通テスト利用型のみ出願する場合>
・個人面接(オンライン)を実施する。試験日は2月1日、2日、3日から受験者が選択する。

一般選抜併願割引について

1併願ごと20,000円(大学入学共通テスト利用型は10,000円)が割引となります。

- A日程で最大3学部の同一日併願が可能 (体育学部・スポーツ文化学部・スポーツマネジメント学部)
- A日程・B日程・C日程 大学入学共通テスト利用型で併願が可能
- 最大6併願が可能

case. 01 A日程で体育学部・スポーツ文化学部・スポーツマネジメント学部に出願する場合

01 A日程 体育学部 35,000円	+	02 A日程 スポーツ文化学部 35,000円 15,000円	+	03 A日程 スポーツマネジメント学部 35,000円 15,000円	+	04 B日程 35,000円 15,000円	+	05 C日程 35,000円 15,000円	+	06 大学入学共通テスト利用型 15,000円 5,000円	=	6併願 入学検定料 190,000円 100,000円
---------------------	---	--	---	--	---	-----------------------------------	---	-----------------------------------	---	---	---	--

case. 02 A日程で児童スポーツ教育学部または保健医療学部に出願する場合

01 A日程 児童スポーツ教育学部 35,000円	or	01 A日程 保健医療学部 35,000円	+	02 B日程 35,000円 15,000円	+	03 C日程 35,000円 15,000円	+	04 大学入学共通テスト利用型 15,000円 5,000円	=	4併願 入学検定料 120,000円 70,000円
---------------------------	----	-----------------------	---	-----------------------------------	---	-----------------------------------	---	---	---	---------------------------------------

POINT! 一般選抜A~C日程の筆記試験は、国語と英語の試験になります。基礎的な問題から応用問題がありますので、対策としては、過去問題を確認して本学の傾向を掴みましょう!
一般選抜の過去問題については、『赤本』(教学社)にて掲載しております。

全国の書店や教学社のホームページ(URL▶<https://akahon.net/>)にて9月中旬より購入可能です。

募集人員 総合型選抜 学校推薦型選抜 一般選抜 特別選抜 各学部が定める3つの方針 2023年度 入試データ Admission Guide 2024

特別選抜



※選抜日程等詳細については、本学HPよりご確認ください。

学部	学科・コース	帰国生及び 国際バカロレア資格選抜	外国人 留学生選抜	リカレント 選抜	英語外部資格選抜	飛び入学選抜
体育学部	体育学科	●	●	●	●	●
	健康学科	●	●	●	●	●
スポーツ文化 学部	武道教育学科	●	●	●	●	-
	スポーツ国際学科	●	●	●	●	-
スポーツ マネジメント 学部	スポーツマネジメント学科	●	●	●	●	-
	スポーツライフマネジメント学科	●	●	●	●	-
児童スポーツ 教育学部	児童スポーツ教育コース	●	-	●	●	-
	幼児教育保育コース	●	-	●	●	-
保健医療学部	整復医療学科	●	-	●	●	-
	救急医療学科	●	-	●	●	-

出願期間	試験日	合格 発表日	入学手続 締切日	選考方法	試験場
11/1 (水) ～ 11/9 (木)	12/3 (日)	12/7 (木)	12/14 (木)	下表参照	本学 (東京・世田谷 キャンパス)

選抜 区分	出願資格	選考方法
帰国生 及び 国際バカロレア 資格選抜	<p>日本国籍を有する者のほか、日本における在留資格「永住者」を有する者または特別永住者で、令和6年3月31日までに18歳に達する者で、次のいずれかに該当する者。</p> <p>(1)外国において、学校教育(日本国内の外国人学校は含まない)における12年の課程のうち、当該外国の学校教育制度において位置付けられた高等学校に対応する学校の課程に2年以上継続して在学し、令和6年3月31日までに卒業(修了)または卒業(修了)見込みの者。ただし、入学時に学校教育12年の課程を修了後3年未満であること。日本の高等学校の在籍期間は原則として1年半未満であること。</p> <p>(2)外国において、指定された11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程(※1)に2年以上継続して在学し、令和6年3月31日までに卒業(修了)または卒業(修了)見込みの者。ただし、入学時に学校教育12年の課程を修了後3年未満であること。日本の高等学校の在籍期間は原則として1年半未満であること。</p> <p>(3)国際的な認可団体(WASC,CIS,ACSI,NEASC)の認定を受けた外国における教育施設の12年の課程に、2年以上継続して在学し、令和6年3月31日までに卒業(修了)または卒業(修了)見込みの者。ただし、入学時に学校教育12年の課程を修了後3年未満であること。日本の高等学校の在籍期間は原則として1年半未満であること。</p> <p>(4)外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCE(General Certificate of Education)Aレベル(※2)を保有する者で、それらの認定証明書を取得できる日本国外にある学校に最終学年を含めて2年以上継続して在学し、資格取得後の経過年数が出願時までに3年未満である者。</p> <p>(5)日本の高等学校を令和6年3月卒業見込みの者で、外国の中学校から高等学校の在籍期間中に2年以上継続して在学し、外国において外国の教育課程に基づく教育を受け、帰国後の在籍期間が1年半未満の者。</p> <p>(※1)文部科学大臣指定の高等学校に対応する外国の学校の課程は、文部科学省のサイト(https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314.htm)参照</p> <p>(※2)GCE(General Certificate of Education)Aレベルは1科目以上合格で評価E以上を有していること</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本国内にあるインターナショナルスクールや外国人学校の卒業者は対象としない。 文部科学省により日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定された在外教育施設の卒業者は対象としない。 帰国生選抜における当該年度受験者の次年度以降の出願は認めない。 	<p>小論文試験(60分) (日本語で論述する) プレゼンテーション (日本語で行う) 実技試験 (武道教育学科のみ実施。動画提出)</p>
国際バ カロレ ア資 格	<p>日本国籍を有する者のほか、日本における在留資格「永住者」を有する者または特別永住者で、令和6年3月31日までに18歳に達する者で、次の(1)～(2)のすべてに該当する者。</p> <p>(1)国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格(International Baccalaureate Diploma)を授与された者もしくは令和6年3月31日までに授与見込みの者。</p> <p>(2)日本国内で国際バカロレア・ディプロマプログラムを修了した者。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本国外で国際バカロレア・ディプロマプログラムを修了した者は、本入試の対象としない。 国際バカロレア資格を取得見込みで出願した者が、令和6年3月31日までに国際バカロレア資格を取得出来ない場合は、合格取消とする。 	

選抜 区分	出願資格	選考方法																																																															
外国人 留学生 選抜	<p>次の全てに該当する者または令和6年3月31日までに該当する見込みの者。</p> <p>(1)日本国籍を有しない者及び日本国の永住許可(特別永住許可を含む)を得ていない者。</p> <p>(2)令和6年3月31日までに18歳に達する者。</p> <p>(3)入学時に在留資格「留学」を有する者。</p> <p>(4)次のいずれかに該当する者。</p> <p>①外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣が指定した者。</p> <p>②外国において、指定された11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程(※1)を修了した者または令和6年3月31日までに修了見込みの者。</p> <p>③外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCE(General Certificate of Education)Aレベル(※2)を保有する者。</p> <p>④国際的な認可団体(WASC,CIS,ACSI,NEASC)の認定を受けた外国における教育施設の12年の課程を令和6年3月31日までに修了または修了見込みの者。</p> <p>・上記出願資格においては、「外国の正規の学校教育における12年目の課程を修了した者」の基準を含む。</p> <p>・日本の高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了した(修了見込みの)者は含まない。</p> <p>(※1)文部科学大臣指定の高等学校に対応する外国の学校の課程は、文部科学省のサイト(https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314.htm)参照</p> <p>(※2)GCE(General Certificate of Education)Aレベルは1科目以上合格で評価E以上を有していること。</p>	<p>小論文試験(60分) (日本語で論述する) プレゼンテーション (日本語で行う) 実技試験 (武道教育学科のみ実施。動画提出)</p>																																																															
リカ レン ト選 抜	<p>令和6年3月31日現在満22歳以上の者で、次の(1)～(3)のいずれかに該当する者。</p> <p>(1)高等学校(中等教育学校を含む)を卒業した者。</p> <p>(2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者。</p> <p>(3)学校教育法施行規則の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者。</p>	<p>小論文試験(60分) プレゼンテーション 実技試験 (武道教育学科のみ実施。動画提出)</p>																																																															
飛 び入 学選 抜	<p>次の(1)～(3)の全てに該当する者。</p> <p>(1)本学入学時に高等学校の在学期間が2年になる者(これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む)。</p> <p>(2)本学が展開する教育研究の分野(体育及びスポーツ科学)において特に優れた資質(オリンピック及びこれに準ずる国際大会における上位入賞の経験等)を有すると認められる者。</p> <p>(3)上記(2)について、これを証明する高等学校長あるいは指導者(外部指導者を含む)が推薦する者。</p>	<p>小論文試験(60分) プレゼンテーション</p>																																																															
英 語外 部資 格選 抜	<p>次の(1)～(2)の全てに該当する者または令和6年3月31日までに該当する見込みの者。</p> <p>(1)令和6年3月31日までに18歳に達する者で、日本国籍を有する者または日本国の永住許可を得ている者その他これに準ずる者のうち、次の①～③のいずれかに該当する者。</p> <p>①高等学校(中等教育学校を含む)を卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者。</p> <p>②通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和6年3月修了見込みの者。</p> <p>③学校教育法施行規則の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者または令和6年3月までにこれに該当する見込みの者。</p> <p>(2)原則として以下のCEFRランクの「B2」以上のランク資格を得ている者または英検スコア(CSE2.0)のトータルスコアが、「2304点」以上のスコアを取得した者。</p> <p>■各試験団体の採点によるCEFRの対照表(文部科学省2018年3月) ※学生募集要項にて最終決定版を公表する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>CEFR</th> <th>実用英語 技能検定 (1級-3級)</th> <th>ケンブリッジ 英語検定</th> <th>GTEC Advanced Basic Core CBT</th> <th>IELTS</th> <th>TEAP</th> <th>TEAP CBT</th> <th>TOEFL iBT</th> <th>TOEIC L&R TOEIC S&W</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>C2</td> <td></td> <td>230 - 200</td> <td></td> <td>9.0 - 8.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C1</td> <td>1級</td> <td>199 - 180</td> <td>1400 - 1350</td> <td>8.0 - 7.0</td> <td>400 - 375</td> <td>800</td> <td>120 - 95</td> <td>1990 - 1845</td> </tr> <tr> <td>B2</td> <td>準1級 トータルスコアが 2304点以上</td> <td>179 - 160</td> <td>1349 - 1190</td> <td>6.5 - 5.5</td> <td>374 - 309</td> <td>795 - 600</td> <td>94 - 72</td> <td>1840 - 1560</td> </tr> <tr> <td>B1</td> <td>2級</td> <td>159 - 140</td> <td>1189 - 960</td> <td>5.0 - 4.0</td> <td>308 - 225</td> <td>595 - 420</td> <td>71 - 42</td> <td>1555 - 1150</td> </tr> <tr> <td>A2</td> <td>準2級</td> <td>139 - 120</td> <td>959 - 690</td> <td></td> <td>224 - 135</td> <td>415 - 235</td> <td></td> <td>1145 - 625</td> </tr> <tr> <td>A1</td> <td>3級 - 5級</td> <td>119 - 100</td> <td>689 - 270</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>620 - 320</td> </tr> </tbody> </table> <p>※CEFR(Common European Framework of Reference for Languages) ※TOEIC L&R/TOEIC S&Wについては、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアで判定する。</p>	CEFR	実用英語 技能検定 (1級-3級)	ケンブリッジ 英語検定	GTEC Advanced Basic Core CBT	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEIC L&R TOEIC S&W	C2		230 - 200		9.0 - 8.5					C1	1級	199 - 180	1400 - 1350	8.0 - 7.0	400 - 375	800	120 - 95	1990 - 1845	B2	準1級 トータルスコアが 2304点以上	179 - 160	1349 - 1190	6.5 - 5.5	374 - 309	795 - 600	94 - 72	1840 - 1560	B1	2級	159 - 140	1189 - 960	5.0 - 4.0	308 - 225	595 - 420	71 - 42	1555 - 1150	A2	準2級	139 - 120	959 - 690		224 - 135	415 - 235		1145 - 625	A1	3級 - 5級	119 - 100	689 - 270					620 - 320	<p>小論文試験(60分) (日本語で論述する) プレゼンテーション (日本語で行う) 実技試験 (武道教育学科のみ実施。動画提出)</p>
CEFR	実用英語 技能検定 (1級-3級)	ケンブリッジ 英語検定	GTEC Advanced Basic Core CBT	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEIC L&R TOEIC S&W																																																									
C2		230 - 200		9.0 - 8.5																																																													
C1	1級	199 - 180	1400 - 1350	8.0 - 7.0	400 - 375	800	120 - 95	1990 - 1845																																																									
B2	準1級 トータルスコアが 2304点以上	179 - 160	1349 - 1190	6.5 - 5.5	374 - 309	795 - 600	94 - 72	1840 - 1560																																																									
B1	2級	159 - 140	1189 - 960	5.0 - 4.0	308 - 225	595 - 420	71 - 42	1555 - 1150																																																									
A2	準2級	139 - 120	959 - 690		224 - 135	415 - 235		1145 - 625																																																									
A1	3級 - 5級	119 - 100	689 - 270					620 - 320																																																									

募集人員

総合型

学校推薦型選抜

一般選抜

特別選抜

各学部が定める
3つの方針

2023年度
入試データ

Admission Guide 2024

各学部が定める3つの方針

体育学部が定める3つの方針

1 ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与の方針)

体育学部では、本学の「教育目標」に沿った人材を育成するため、独自の教育プログラムを展開する。この課程における、卒業認定と学位授与【学士(体育学)】の要件は、以下の通りである。

- ① 所定の期間在学し、本学の社会的使命(ミッション)及び目標(ビジョン)に則って設定された授業科目を履修することにより、所定の単位を修得している。
- ② 体育スポーツ学に関する諸科目の多面的な履修を通じて、広く教養を培うとともに、体育・身体活動・スポーツの実践を通じて、体力の向上、健康の保持増進、心身の調和のとれた発達、競技力向上、国際平和の実現に貢献できる専門的知識と技能とを体得している。
- ③ 体育学部における共通教育及び各学科・学修領域に設定する体系的学修とを通じ、現代社会が抱える体育スポーツ学の諸問題について、課題探求力や問題解決力、さらには、それらを実践現場において有効に還元するためのコミュニケーション力、実践力を備えている。

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

体育学部は、「卒業認定・学位授与の方針」に掲げる知識及び能力を修得させるために、その基礎となる体育学部共通科目及び各学科・学修領域における実践的科目を編成し、講義・演習・実習等を適切に展開する。

体育学科

- ① 体育学科では、「スポーツ教育」及び「競技スポーツ」に関する学修領域を設け、当該分野におけるより高度な知識と技術とが体得できるよう、関連科目を配する。
- ② 青少年の健全な心と身体とを育む力やスポーツの競技力向上に資する力を修得すべく、関連の実践的技術・理論科目を配する。
- ③ スポーツ医科学、コンディショニング管理、スポーツ傷害に関する科目についても設けることとし、ひとりひとりの技術・体力レベル等に応じた適切なスポーツ指導が展開できるよう、実践現場での実習等を重視する。

健康学科

- ① 健康学科では、「ヘルスプロモーション」及び「ソーシャルサポート」に関する学修領域を設け、当該分野におけるより高度な知識と技術とが体得できるよう、関連科目を配する。
- ② 心身ともに健やかで豊かな福祉社会の実現に貢献できるよう、健康科学・スポーツ医科学に関する実践的技術・理論科目を配する。
- ③ 身体活動によって生じる外傷・障害の対応、安全の確保に必要な実践的技術を修得できるよう、実践現場での実習等を重視する。

3 アドミッション・ポリシー (入学者受入の方針)

体育学部は、その「卒業認定・学位授与の方針」及び「教育課程編成・実施の方針」に沿って、入学者選抜を実施する。

求める人材像

- ① 国語、英語等で学んだことを基盤とした言語能力及びコミュニケーション能力を有している。
- ② 地理歴史、公民等を通じた地球規模で現代社会を読み解く力を有している。
- ③ 数学、理科等で学んだ思考力に基づき、体育・身体活動・スポーツを客観的に分析する力を有している。
- ④ 保健体育、芸術等で研いた感性と創造力から、人間の心身の可能性(スポーツ・芸術・文化)について探究する力を有している。
- ⑤ 種々の課外活動を通じて身につけたチームワークや実践力を有している。

入学者選抜の種類

入学者選抜にあたっては、上掲の高等学校等において修得すべき知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性、などを備えているか否かを評価するため、「総合型選抜」、「学校推薦型選抜」、「一般選抜」、「特別選抜」(帰国生・国際バカロレア(IB)資格・英語外部資格・外国人留学生・リカレント・飛び入学)、など多様な選抜区分を設ける。

スポーツ文化学部が定める3つの方針

1 ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与の方針)

スポーツ文化学部では、本学の「教育目標」と本学が培ってきた伝統に基づき、我が国の体育・スポーツ界並びに来るべき社会を国際的にリードできる人材の育成を図るための独自の教育・研究プログラムを通じて、以下のような資質・能力を獲得した学生に「学士(体育学)」を授与する。

幅広い教養と専門分野の知識・技能

- ① 幅広い教養と、伝統に由来する体系化された「我が国固有の伝統スポーツ文化」である武道並びに伝統芸能に関連した科学的な知識と技能を身に付けている。
- ② 武道並びに伝統芸能を通じて国際的に貢献するために必要な科学的な知識と技能を身に付けている。
- ③ 日本の精神文化に立脚した体育・スポーツを通じた国際的な社会的課題の解決に必要な知識と技能を身に付けている。

汎用的能力

- ① スポーツを通じた国際理解、国際平和の実現に向けて、適切に課題を解決することができる。(課題解決力)
- ② スポーツを通じた国際理解、国際平和の実現に向けて、適切なコミュニケーションを営むことができる。(コミュニケーション能力)
- ③ 課題解決に必要な情報を収集、評価、活用できる。(情報収集力)

態度

- ① 主体性をもって多様な人々と協働し、スポーツを通じた国際理解、国際平和の実現に向けて取り組もうとしている。
- ② 多様な他者の意見や思いを共感的に理解しようとしている。
- ③ 生涯にわたり新しい知識やスキルを積極的に身に付けようとしている。
- ④ スポーツの価値や礼節を尊重し、その実現に向けて責任をもって行動しようとしている。

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

スポーツ文化学部のディプロマ・ポリシーを踏まえ、カリキュラム・ポリシーを次のように定める。

教育課程の編成

- ① 本学が果たしてきた歴史的・社会的使命を理解すると同時に我が国の体育・スポーツの歴史を知り、本学で学ぶ意味の醸成を目的として「日体大アイデンティティ科目」を設け、「日体大の歴史」及び「オリンピック・パラリンピック概論」を置く。
- ② 体育・スポーツにおける実践的指導力のみならず、広く社会一般で先導的役割を担うためのチームワークやリーダーシップ、コミュニケーション能力並びに規範的意識を養成するため、「日体大アイデンティティ科目」に「海浜実習」、「キャンプ実習」、「スキー実習」、「スケート実習」の4つの学外(野外)実習科目を設ける。
- ③ 多様性を受け入れ、共生・共感的態度をもって、地球市民として各分野で活躍できる力を養うために「グローバルコミュニケーション科目」を設ける。
- ④ よき市民及び国際人として身に付けるべき基本的な素養としての社会人基礎力と調和の取れた人間力を形成するため、学部共通科目に「教養科目」を設け、基礎教養に関わる科目と言語コミュニケーション科目を置く。
- ⑤ 体育・スポーツを通じて国際的な社会的課題を主体的に解決できる能力を育成するために、「総合科目」の中に研究科目を設ける。この科目群では、初年次に「スポーツ文化研究A」、2年次に「スポーツ文化研究B」、3年次に「スポーツ文化研究C・D」、4年次に「スポーツ文化研究E・F」を必修とし、課題解決力、コミュニケーション能力、情報収集力の段階的・体系的な能力の向上を図る。
- ⑥ スポーツ・健康科学並びにスポーツ指導の基礎的知識、技能、態度を修得するために、「基幹科目」、「展開科目」、「専門科目(体育実技)」を設ける。
- ⑦ スポーツを通じた国際貢献の基幹となる知識、技能並びに態度を習得するために「学科基礎科目」を設ける。

- ① 武道教育学科
わが国固有の精神文化に立脚した体育・スポーツを中心にその内容を構成する。
- ② スポーツ国際学科
海外の体育・スポーツを中心にその内容を構成する。
- ③ 体系的かつ専門的な学修を通じて体得した知識、技能等を総合的に活用するために「学科専門科目」を設ける。
- ④ 武道教育学科
武道教育、伝統芸能、体育指導などに関わる教養とスキルを向上させる科目を置く。
- ⑤ スポーツ国際学科
スポーツ国際交流、スポーツ支援、スポーツ国際開発援助などで今日的課題を実践的に解決する力を獲得するために、国際的な教養とスキルを向上させる科目を置く。

教育方法

- ① 講義、反転学習、ピア学習、課題探究型学習等を効果的に組み合わせることで、他者と双方向的に関わりながら主体的に学び、経験を積む姿勢、国や地域を越えて多様な価値観をもつ人々とコミュニケーションができる機会を提供する。
- ② 課題探究型学習、フィールドワーク、収集したデータの協同的な分析、発表の機会を設定することで自らが学修を希望する専門領域にとどまることなく幅広い視野で隣接した学問分野に対する興味関心を高める機会を提供する。
- ③ 海外でのスポーツ文化交流や指導体験を通して、異文化理解を促進する機会を提供する。

学修の評価

- ① シラバスに示した評価規準に即して学修成果を評価する。
- ② 学修成果は、最終テスト並びに授業過程において実施する小テスト、レポート、発表、実技試験等を踏まえて評価していく。

3 アドミッション・ポリシー (入学者受入の方針)

スポーツ文化学部のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づき、アドミッション・ポリシーを以下に明示する。

求める学生像

- ① スポーツを通じた日本国内外の社会的課題の解決に関心のある人
- ② 体育・スポーツに関して、自己アピールできるものを持っている人や見つけたい人
- ③ 他者と協調・協働し、課題解決に向けた活動をすることに意欲のある人
- ④ 社会の規範やルールに従い、責任感をもって行動しようとする人
- ⑤ 多様な文化・価値観を学び、国・地域や国際社会で活躍したい人

入学者選抜の種類

入学者選抜にあたっては、高等学校などにおいて修得すべき知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性などを備えているか否かを評価するため、「総合型選抜」、「学校推薦型選抜」、「一般選抜」、「特別選抜」など多様な選抜区分を設ける。

各学部が定める3つの方針

スポーツマネジメント学部が定める3つの方針

1 ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与の方針)

スポーツマネジメント学部では、本学の「教育目標」に基づき、体育スポーツ学、スポーツマネジメント学に関する専門教育並びに教養科目等に関する共通教育を通じて、以下のような資質・能力を獲得した学生に「学士(体育学)」を授与する。

幅広い教養と専門分野の知識・技能

- 幅広い教養と専門分野(体育スポーツ学、スポーツマネジメント学)に関する基礎的な知識・技能を体系的に身に付けている。
- 現代のスポーツ全体を見渡し、スポーツの価値を有効に活用することで個人や組織、社会の課題解決を図るとともに、スポーツビジネスの発展や地域における豊かなスポーツライフの実現を推進し得る実践的なマネジメント力を身に付けている。

汎用的能力

- 課題の発見・設定をし、その解決に必要な情報を収集・分析・整理し、解決の方法を見出し、解決のための方策を企画・実行することができる。(企画力、課題解決力)
- 筋道を立てて思考し、適切な根拠に基づき、自分の考えを表現できる。(論理的思考力、表現力)
- 日本語及び外国語を使って読み、書き、聞き、話すことができる。(コミュニケーションスキル)
- ICTを使って多様な情報を収集・分析し、判断・活用することができる。(情報収集・活用能力)

態度

- スポーツを事業として捉えてビジネスチャンスを見出す、ライフステージに応じたスポーツや運動プログラムを企画するなど、スポーツの新たな価値を創造する意欲を有している。(新たな価値の創造)
- 様々な立場の人と協調・協働し、体育スポーツ学、スポーツマネジメント学における課題の解決に向かって主体的に参画し、リーダーシップを発揮しようとしている。(チームワーク、リーダーシップ、参画)
- 共生社会の実現に向けて、様々な立場の人を尊重し、共感し、思いやりのある態度をとろうとしている。(共生、共感)
- 社会の規範やルールに従い、責任感をもって行動しようとしている。(規範意識、倫理観)
- 自己への理解を深め、確たる自信や前向きな態度をもって、自律して生涯学び続けようとしている。(自己理解、自己効力感、自律、生涯学習)

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

スポーツマネジメント学部のディプロマ・ポリシーを踏まえ、カリキュラム・ポリシーを次のように定める。

教育課程の編成

- 本学が果たしてきた歴史的・社会的使命を理解すると同時に我が国の体育・スポーツの歴史を知り、本学で学ぶ意味の醸成を目的として「日体大アイデンティティ科目」を設け、「日体大の歴史」及び「オリンピック・パラリンピック概論」を置く。
- 体育・スポーツにおける実践的指導力のみならず、広く社会一般で先導的役割を担うためのチームワークやリーダーシップ、コミュニケーション能力並びに規範的意識を養成するため、「日体大アイデンティティ科目」に「海浜実習」、「キャンプ実習」、「スキー実習」、「スケート実習」の4つの学外(野外)実習科目を設ける。
- 多様性を受け容れ、共生・共感的態度をもって、地球市民として各分野で活躍できる力を養うために「グローバルコミュニケーション科目」を設ける。
- 幅広い教養を身に付け、生涯学び続けることのできる前向きな態度を育成するために、初年次と2年次に「教養科目」を設ける。
- スポーツマネジメントにおける課題を主体的に解決できる能力を育成するために、初年次から4年次までを通した「総合教育科目」の中に研究科目を設ける。この科目群では、初年次に「スポーツマネジメント研究A」、2年次に「スポーツマネジメント研究B」、3・4年次に「スポーツマネジメント研究C・D・E・F」を必修とし、論理的思考力、表現力、情報収集・活用能力、課題解決力の段階的・体系的な能力の向上を図る。
- 体育スポーツ学、スポーツマネジメント学に関する基礎的な知識と技能を身に付けることを目的とした「基幹科目」と「展開科目」を設ける。
- 専門分野の知識・技能を身に付け、社会の状況に応じた実践的マネジメント能力を高めるために、各学科に「学科基礎科目」と「学科専門科目」を設ける。

① スポーツマネジメント学科

スポーツに関係する組織や団体、企業等をマネジメントしたり、スポーツをビジネスと関連付けてマネジメントするための専門的な知識や技能を身に付けるために、「学科基礎科目」を設ける。また、世界中で展開しているイベント・商品開発・施設経営など様々なスポーツビジネスの実践現場に活かせる企画力・実践力・プレゼンテーション力を養い、新たな価値を生み出す意欲と態度を培うために、「学科専門科目」を設ける。

② スポーツライフマネジメント学科

多様な人々のスポーツライフをマネジメントし、現代社会の様々な課題を解決するための専門的な知識や技能を身に付けるために、「学科基礎科目」を設ける。また、部活動、地域スポーツ、まちづくり、健康づくりなどに関わる指導力とマネジメント力を向上させるための「学科専門科目」を設け、専門性の高い指導者を養成するためにアウトドアスポーツに関わる理論・実習、スポーツ・レクリエーションの実技、高齢者や障がい者のスポーツ指導に関する実技などの科目を配置する。

③ 多様な形で社会に貢献できる能力を育成するために、「自由科目」を設ける。

教育方法

- 講義、演習、実技、実習をバランスよく組み合わせ、主体的な学修の充実を図る。
- 科目の特性に応じて双方向型授業、グループワーク、集団討論、反転授業、PBL型授業等を初年次から展開し、動機付け・目的意識の向上を促す。

学修の評価

- 各科目の到達目標と評価方法はシラバスに明示し、具体的な評価基準については、授業内で学生に周知する。
- 学修成果は定量的、定性的に評価する。
- 「スポーツマネジメント研究E・F」での成果、提出された論文等から4年間の学修を総合的に評価する。

3 アドミッション・ポリシー (入学者受入の方針)

スポーツマネジメント学部のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づき、アドミッション・ポリシーを以下に明示する。

求める学生像

- スポーツに関わる組織や個人のマネジメント及びスポーツをめぐるビジネスについての知的好奇心の旺盛な人
- 体育スポーツ学、スポーツマネジメント学を学修する上で幅広い教養を担保するものとして、高等学校などで身に付けるべき各教科に関する基礎的学力を有している人
- 授業、大学行事、課外活動、ボランティア活動などにおいて、他者と協調・協働し、課題解決に向けた活動することに意欲を有している人
- 国内外において体育・スポーツを推進し社会に貢献できるリーダーを目指す人

入学者選抜の種類

入学者選抜にあたっては、上掲の高等学校などにおいて修得すべき知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性などを備えているか否かを評価するため、「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」「特別選抜」など多様な選抜区分を設ける。

児童スポーツ教育学部が定める3つの方針

1 ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与の方針)

児童スポーツ教育学部では、本学の「教育目標」に基づき、教育学・保育学、体育・スポーツ科学に関する専門教育並びに教養科目等に関する共通教育を通じて、以下のような資質・能力を獲得した学生に「学士(児童スポーツ教育学)」を授与する。

幅広い教養と専門分野の知識・技能

- 幅広い教養と専門分野(教育学・保育学、体育・スポーツ科学)に関する基礎的な知識・技能を体系的に身に付けている。
- 児童(乳幼児を含む)の状況に応じた実践的指導力を身に付けている。

汎用的能力

- 課題の発見・設定をし、その解決に必要な情報を収集・分析・整理し、解決の方法を見出し、解決することができる。(課題解決力)
- 筋道を立てて思考し、適切な根拠に基づき、自分の考えを表現できる。(論理的思考力、表現力)
- 日本語及び外国語を使って読み、書き、聞き、話すことができる。(コミュニケーションスキル)
- ICTを使って多様な情報を収集・分析し、判断・活用することができる。(情報収集・活用能力)

態度

- 様々な立場の人と協調・協働し、教育学・保育学、体育・スポーツ科学における課題の解決に向かって主体的に参画し、リーダーシップを発揮しようとしている。(チームワーク、リーダーシップ、参画)
- 共生社会の実現に向けて、様々な立場の人を尊重し、共感し、思いやりのある態度をとろうとしている。(共生、共感的態度)
- 社会の規範やルールに従い、責任感をもって行動しようとしている。(規範意識、倫理観)
- 自己への理解を深め、確たる自信や前向きな態度をもって、自律して生涯学び続けようとしている。(自己理解、自己効力感、自律、生涯学習)

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

児童スポーツ教育学部のディプロマ・ポリシーを踏まえ、カリキュラム・ポリシーを次のように定める。

教育課程の編成

- 共生、共感的態度で、自己効力感を持って前向きに学ぶ意欲を身に付けるとともに、チームワークやリーダーシップ、規範意識を養うために、本学独自の「日体大総合科目」を設ける。
- 幅広い教養を身に付け、生涯学び続けることのできる前向きな態度を育成するために、初年次と2年次に「教養科目」を設ける。
- 外国語でのコミュニケーションスキルを高めることを目的とした「言語コミュニケーション科目」を2年次までに設ける。
- 教育・保育、体育・スポーツにおける課題を主体的に解決できる能力を育成するために、初年次から4年次までを通した「児童スポーツ教育学部基軸・キャリア科目」を設ける。この科目群では、初年次に「基礎ゼミナール」、2年次に「児童スポーツ教育演習」、3・4年次に「児童スポーツ教育研究」を必修とし、論理的思考力、表現力、情報収集・活用能力、課題解決力の段階的・体系的な能力の向上を図る。
- 教育学・保育学、体育・スポーツ科学に関する基礎的な知識と技能を身に付けることを目的とした「共通専門科目」を2年次までに設ける。
- 専門分野の知識・技能を身に付け、児童(乳幼児を含む)の状況に応じた実践的指導力を高めるために、「スポーツ実技科目」と「コース専門科目」を設ける。

① 児童スポーツ教育コース

初等教育に関する知識と指導力を身に付けるために、2・3年次を中心に「教育の基礎に関する科目」、「教科の内容と指導法に関する科目」、「中学校関連科目」を配置する。併せて、本コースの特徴である身体・健康・スポーツに関わる「発展・展開科目」を3年次までに設ける。

② 幼児教育保育コース

幼児教育・保育に関する知識と指導力を身に付けるために、1・2年次を中心に「教育・保育の基礎に関する科目」を設け、2年次を中心に「保育の内容と指導に関する科目」を各学年に配置する。併せて、幼児教育・保育の様々な分野に関する専門的知識と技術を身に付けるために、「発展・展開科目」を3年次以降に配置する。さらに、「教育・保育実習科目」を2年次から3年次までに段階的に配置する。

③ 教職界に限らず、多様な形で社会に貢献できる能力を育成するために、「自由科目」を設ける。

教育方法

- 講義、演習、実技、実習をバランスよく組み合わせ、主体的な学修の充実を図る。
- 科目の特性に応じて双方向型授業、グループワーク、集団討論、反転授業、PBL型授業等を初年次から展開し、動機付け・目的意識の向上を促す。

学修の評価

- 各科目の到達目標と評価方法はシラバスに明示し、具体的な評価基準については、ルーブリックを作成し、授業内で学生に周知する。
- 学生自身が学修履歴を記録するポートフォリオを用意し、学修を振り返り、自己評価を行う機会を「児童スポーツ教育学部基軸・キャリア科目」の授業の中に設ける。
- 「児童スポーツ教育研究」によって提出された論文・成果物等から4年間の学修を総合的に評価する。

3 アドミッション・ポリシー (入学者受入の方針)

児童スポーツ教育学部のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づき、アドミッション・ポリシーを以下に明示する。

求める学生像

- 教育・保育への関心を持ち、それらの職への強い使命感や志のある人
- 教育学・保育学、体育・スポーツ科学を学修する上で幅広い教養を担保するものとして、高等学校などで身に付けるべき各教科に関する基礎的学力を有している人
- 授業、大学行事、課外活動、ボランティア活動などにおいて、他者と協調・協働し、課題解決に向けた活動をすることに意欲のある人
- 社会の規範やルールに従い、責任感をもって行動しようとする人

入学者選抜の種類

入学者選抜にあたっては、上掲の高等学校などにおいて修得すべき知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性などを備えているか否かを評価するため、「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」「特別選抜」など多様な選抜区分を設ける。

保健医療学部が定める3つの方針

1 ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

保健医療学部は、大学の「教育目標」に沿った人材を育成するため、独自の教育プログラムを展開する。この課程における、卒業認定と学位授与の要件は、以下の通りである。

整復医療学科	
<p>整復医療学科では、豊かな人間性と倫理観に満ち、国際的視野を備え、スポーツとスポーツを通じた人々の健康に医療の立場から貢献する人材を育成することが社会から期待されている。このような人材を育成するため、所定の期間在学し、所定の133単位を修得した者に卒業を認定、学位【学士(整復医療学)】を授与する。具体的な知識・技能及び応用力等は、次の通りである。</p>	<p>■優れたコミュニケーション能力や協調性を有し、思いやりに満ちた行動ができる。</p> <p>④態度・姿勢</p> <p>■柔道整復術を実践し、国民の健康維持と増進の一翼を担うという自覚を持っている。</p> <p>■スポーツとスポーツを通じた人々の健康に医療の立場から貢献するという強い意志を持っている。</p> <p>■生涯にわたり自ら学び続ける習慣を身につけている。</p> <p>■国際交流の重要性を理解し、柔道整復師としてスポーツに関わりグローバルに活躍する国際性を身につけている。</p>
救急医療学科	
<p>救急医療学科では、所定の期間在学し、次のような知識・能力等を身につけ、所定の単位を修得した者に卒業を認定するとともに、学位【学士(救急医療学)】を授与する。</p> <p>①救急・災害医療に関する医学的・法的知識を有し、医療人として必要な倫理観を備えている。</p> <p>②臨床現場において、科学的根拠に基づいて思考し、必要な医療技術が実践できる。</p> <p>③現代社会におけるグローバル化に対応できる多様性を備え、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を有している。</p>	<p>救急医療学科では、所定の期間在学し、次のような知識・能力等を身につけ、所定の単位を修得した者に卒業を認定するとともに、学位【学士(救急医療学)】を授与する。</p>

2 カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

保健医療学部は、「卒業認定・学位授与の方針」に則って、次の通り、「教育課程編成・実施の方針」を定める。

整復医療学科	
<p>整復医療学科では、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために、「学部共通科目」と「専門教育科目」を体系的に編成し、講義・演習・実習等を適切に組み合わせ授業を展開する。教育課程については、コースツリーにより体系的に明示する。教育内容、教育方法、学習成果の評価、について以下の通りとする。</p> <p>①教育内容</p> <p>学部共通科目については、「言語コミュニケーション科目」「教養科目」「総合科目」「数理・情報系」「生物学系」「体育学系」の6つの科目群に区分する。専門教育科目については、「スポーツ科学」「人間の構造と機能」「疾病と傷害」「柔道整復術の適応」「柔道整復の理念と保健医療福祉」「社会保障制度」「基礎柔道整復学」「臨床柔道整復学」「柔道整復実技」「臨床実習」「総合」の11の科目群に区分する。</p> <p>②教育方法</p> <p>■講義:知識のインプット、アウトプットを繰り返して知識の定着と理解を深める。また、適宜グループディスカッションを行い、人の意見や解釈に多様性があることを理解する。</p> <p>■実習:参加型実習を重視している。倫理観、協調性、自己の役割と責任を認識し、主体的に考え、行動できるよう促す。さらに、プレゼンテーションの場を適宜設定し、知識の整理と人に伝える力の養成を重視する。</p> <p>■演習:知識の定着と技術の正確性を高めるため、反復して学習することを重視する。</p> <p>■eラーニング:予習・復習を可能にし、学生個々人の主体的な勉学意欲の促進を図る。</p> <p>■課外活動:特別解剖見学実習やインターンシップを学科独自で制度化して実施し、</p>	<p>低学年で学んだ内容の復習の機会や将来像の創造のための自発的行動を促進する。</p> <p>■柔道整復師国家試験対策:柔道整復師国家試験対策プロジェクトを立ち上げ、1年次から習熟度確認のための模擬試験を実施し、4年次においては課外活動として対策授業を実施する。さらに、モバイルラーニングにより、いつでもどこでも学べる環境を提供する。</p> <p>③学習成果の評価</p> <p>成績評価は、各科目の「授業科目のねらい・到達目標」に対する到達度を目安として採点する。成績評価の公正さと透明性を確保するため、シラバスに掲げた身につく能力(コミュニケーション能力、問題解決力、組織的行動能力、自己実現力、知識獲得力、実技能力、英会話能力)に応じて、筆記試験、プレゼンテーション、レポート、参加態度など適切な評価を組み合わせ、その配比率を予め明示する。また、成績評価の客観性を維持するため、成績評価の終了後に試験問題やレポート課題の出題意図・講評などを学生に告知し、成績分布を公表する。</p>
救急医療学科	
<p>①大規模災害に対応できる人材を育成するために、災害ボランティアや防災訓練に参加する等現場経験を重視した演習や実習科目を配する。</p> <p>②海外で活躍できる人材を育成するため、国際的な救急システムに関する科目を配する。</p> <p>③医療人として必要な倫理観を身につけるために、早期の臨床現場見学、病院内実習、救急車同乗実習等、救急医療の現場(実践)を意識した科目を重視する。</p> <p>④専門知識と医療技術を実践する能力を修得するための救急医学総論及び各論、シミュレーション実習等については、特にOSCE(Objective Structured Clinical Examination:客観的臨床能力試験)の評価を重視する。</p>	<p>救急医療学科</p>

3 アドミッション・ポリシー（入学受入の方針）

保健医療学部では、その「卒業認定・学位授与の方針」及び「教育課程編成・実施の方針」に沿って、入学受入を実施する。

求める人材像	求める人材像
① 国語、英語等で学んだことを基盤とした言語能力及びコミュニケーション能力を有している。	① 国語、英語等で学んだことを基盤とした言語能力及びコミュニケーション能力を有している。
② 地理歴史、公民等を通じた地球規模で現代社会を読み解く力を有している。	② 地理歴史、公民等を通じた地球規模で現代社会を読み解く力を有している。
③ 数学、理科等で学んだ思考力に基づき、体育・身体活動・スポーツを客観的に分析する力を有している。	③ 数学、理科等で学んだ思考力に基づき、体育・身体活動・スポーツを客観的に分析する力を有している。
④ 保健体育、芸術等で研いだ感性と創造力から、人間の心身の可能性(スポーツ・芸術・文化)について探究する力を有している。	④ 保健体育、芸術等で研いだ感性と創造力から、人間の心身の可能性(スポーツ・芸術・文化)について探究する力を有している。
⑤ 種々の課外活動を通じて身につけたチームワークや実践力を有している。	⑤ 種々の課外活動を通じて身につけたチームワークや実践力を有している。
入学受入の種類	入学受入の種類
入学受入の種類	入学受入の種類
入学受入の種類	入学受入の種類

2023年度入試データ

※令和5年4月1日現在

学科アイコン

体育 体育学科
 健康 健康学科
 武道 武道教育学科
 国際 スポーツ国際学科
 マネ スポーツマネジメント学科
 ライフ スポーツライフマネジメント学科

児童 児童スポーツ教育コース
 幼児 幼児教育保育コース
 整復 整復医療学科
 救急 救急医療学科

※単位:人(競争率は倍) ※競争率は受験者数÷合格者数で算出しています。 ※一般選抜の合格者数は、補欠繰上合格者を含みます。

総合型選抜

学部	選抜区分	学科	志願者数		受験者数		一次合格者数		二次試験者数		合格者数		入学者数		競争率
			合計	女性	合計	女性	合計	女性	合計	女性	合計	女性	合計	女性	
体育学部	トップアスリート(競技実績)型10月	体育	153	65	153	65	152	64	150	63	150	63	148	63	1.02
		健康	5	2	5	2	5	2	5	2	5	2	5	2	1.00
		計	158	67	158	67	157	66	155	65	155	65	153	65	1.02
	トップアスリート(競技実績)型2月	体育	17	7	17	7	17	7	16	6	16	6	16	6	1.06
		健康	327	104	319	98					127	47	116	45	2.51
		計	93	68	91	66					88	66	88	66	1.03
	課題探究型	体育	420	172	410	164					215	113	204	111	1.91
		健康	114	32	114	32	34	9	34	9	20	8	20	8	5.70
		計	19	7	19	7	18	6	18	6	17	6	17	6	1.12
	プレゼンテーション型	体育	133	39	133	39	52	15	52	15	37	14	37	14	3.59
健康		119	22	113	20					22	4	22	4	5.14	
計		4	1	4	1	4	1	4	1	4	1	4	1	1.00	
スポーツ文化学部	トップアスリート(競技実績)型10月	武道	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1.00
		国際	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1	1.00
		計	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1.00
	トップアスリート(競技実績)型2月	武道	35	9	35	9					28	8	28	8	1.25
		国際	38	12	37	11					28	11	27	11	1.32
		計	73	21	72	20					56	19	55	19	1.29
	課題探究型	武道	14	1	14	1	9	1	9	1	8	1	8	1	1.75
		国際	13	6	13	6	13	6	12	5	7	4	7	4	1.86
		計	6	6	6	6	6	6	5	5	4	4	4	4	1.50
	プレゼンテーション型	マネ	19	12	19	12	19	12	17	10	11	8	11	8	1.73
ライフ		81	29	79	29					32	17	32	17	2.47	
計		64	29	62	29					46	26	46	26	1.35	
課題探究型	マネ	145	58	141	58					78	43	78	43	1.81	
	ライフ	32	10	32	10	21	7	21	7	11	4	11	4	2.91	
	計	9	4	9	4	9	4	8	4	8	4	8	4	1.13	
プレゼンテーション型	マネ	41	14	41	14	30	11	29	11	19	8	19	8	2.16	
	ライフ	62	30	55	27					48	23	47	23	1.15	
	計	33	32	33	32					15	15	15	15	2.20	
課題探究型	児童	95	62	88	59					63	38	62	38	1.40	
	幼児	12	4	12	4	12	4	12	4	12	4	12	4	1.00	
	計	7	6	7	6	7	6	7	6	3	2	3	2	2.33	
プレゼンテーション型	児童	19	10	19	10	19	10	19	10	15	6	15	6	1.27	
	幼児	81	34	81	34					65	33	65	33	1.25	
	計	69	18	69	18					64	17	63	16	1.08	
課題探究型	整復	150	52	150	52					129	50	128	49	1.16	
	救急	8	2	8	2	8	2	8	2	4	2	4	2	2.00	
	計	7	1	7	1	7	1	7	1	6	1	6	1	1.17	
プレゼンテーション型	整復	15	3	15	3	15	3	15	3	10	3	10	3	1.50	
	救急														
	計														

学校推薦型選抜

学部	選抜区分	学科	志願者数		受験者数		一次合格者数		二次試験者数		合格者数		入学者数		競争率	
			合計	女性	合計	女性	合計	女性	合計	女性	合計	女性	合計	女性		
体育学部	指定校推薦	体育	144	31	144	31					144	31	144	31	1.00	
		健康	35	19	35	19					35	19	35	19	1.00	
		計	179	50	179	50					179	50	179	50	1.00	
	スポーツ推薦	体育	334	119	334	119	316	113	316	113	306	107	305	107	1.09	
		健康	24	10	24	10	24	10	24	10	24	10	23	10	1.00	
		計	358	129	358	129	340	123	340	123	330	117	328	117	1.08	
	スポーツ文化学部	指定校推薦	武道	16	1	16	1					16	1	16	1	1.00
			国際	25	10	25	10					25	10	25	10	1.00
			計	41	11	41	11					41	11	41	11	1.00
		スポーツ推薦	武道	52	12	52	12	52	12	52	12	52	12	50	11	1.00
国際			12	5	12	5	11	4	11	4	11	4	11	4	1.09	
計			64	17	64	17	63	16	63	16	63	16	61	15	1.02	
一般推薦		国際	26	6	26	6					24	6	24	6	1.08	
		マネ	59	18	59	18					59	18	58	17	1.00	
		ライフ	23	10	23	10					23	10	23	10	1.00	
指定校推薦		計	82	28	82	28					82	28	81	27	1.00	
	マネ	34	16	34	16	32	16	32	16	30	15	30	15	1.13		
	ライフ	11	2	11	2	11	2	11	2	11	2	11	2	1.00		
スポーツ推薦	計	45	18	45	18	43	18	43	18	41	17	41	17	1.10		
	児童	38	18	38	18					38	18	38	18	1.00		
	幼児	27	24	27	24					27	24	27	24	1.00		
指定校推薦	計	65	42	65	42					65	42	65	42	1.00		
	児童	19	17	19	17	19	17	19	17	19	17	19	17	1.00		
	幼児	5	5	5	5	5	5	5	5	1	1	1	1	5.00		
スポーツ推薦	計	24	22	24	22	24	22	24	22	20	18	20	18	1.20		
	児童	19	9	19	9					16	9	16	9	1.19		
	幼児	9	9	9	9					3	3	3	3	3.00		
一般推薦	計	28	18	28	18					19	12	19	12	1.47		
	整復	24	7	24	7					24	7	24	7	1.00		
	救急	19	4	19	4					19	4	19	4	1.00		
指定校推薦	計	43	11	43	11					43	11	43	11	1.00		
	整復	5	2	5	2	5	2	5	2	3	1	3	1	1.67		
	救急	0	0	0	0</											

一般選抜

学部	選抜区分	学科	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		競争率
			合計	女性	合計	女性	合計	女性	合計	女性	
A日程	体育	体育	337	72	327	69	69	21	24	5	4.74
		健康	82	36	79	34	51	24	16	6	1.55
		計	419	108	406	103	120	45	40	11	3.38
B日程	体育	体育	184	47	182	46	62	15	24	5	2.94
		健康	24	15	24	15	23	15	9	6	1.04
		計	208	62	206	61	85	30	33	11	2.42
C日程	体育	体育	145	42	142	41	43	12	12	4	3.30
		健康	19	12	18	11	15	10	8	4	1.20
		計	164	54	160	52	58	22	20	8	2.76
大学入学共通テスト利用型	体育	体育	216	67	216	67	11	4	0	0	19.64
		健康	31	22	31	22	5	4	0	0	6.20
		計	247	89	247	89	16	8	0	0	15.44
A日程	国際	国際	133	31	132	31	50	17	7	3	2.64
		武道	6	3	5	2	4	2	2	1	1.25
		計	40	10	38	8	13	5	4	2	2.92
B日程	国際	国際	34	7	33	6	9	3	2	1	3.67
		武道	6	3	5	2	4	2	2	1	1.25
		計	40	10	38	8	13	5	4	2	2.92
C日程	国際	国際	27	2	27	2	7	1	2	1	3.86
		武道	5	4	5	4	2	2	1	1	2.50
		計	43	10	43	10	4	3	1	1	10.75
大学入学共通テスト利用型	国際	国際	38	6	38	6	2	1	0	0	19.00
		武道	5	4	5	4	2	2	1	1	2.50
		計	43	10	43	10	4	3	1	1	10.75
A日程	マネ	マネ	168	47	167	46	35	11	5	0	4.77
		ライフ	85	24	85	24	39	12	9	3	2.18
		計	253	71	252	70	74	23	14	3	3.41
B日程	マネ	マネ	40	11	39	11	14	5	3	3	2.79
		ライフ	32	10	32	10	24	8	9	3	1.33
		計	72	21	71	21	38	13	12	6	1.87
C日程	マネ	マネ	43	9	41	9	14	4	6	2	2.93
		ライフ	37	9	36	9	23	8	5	2	1.57
		計	80	18	77	18	37	12	11	4	2.08
大学入学共通テスト利用型	マネ	マネ	75	29	75	29	2	0	0	0	37.50
		ライフ	32	13	32	13	2	0	0	0	16.00
		計	107	42	107	42	4	0	0	0	26.75

学部	選抜区分	学科	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		競争率
			合計	女性	合計	女性	合計	女性	合計	女性	
A日程	児童	児童	61	25	58	25	8	4	3	1	7.25
		幼児	17	14	17	14	1	1	1	1	17.00
		計	78	39	75	39	9	5	4	2	8.33
B日程	児童	児童	32	12	30	11	8	3	1	0	3.75
		幼児	9	8	9	8	1	1	0	0	9.00
		計	41	20	39	19	9	4	1	0	4.33
C日程	児童	児童	26	8	25	7	4	1	2	0	6.25
		幼児	10	9	9	8	0	0	0	0	0.00
		計	36	17	34	15	4	1	2	0	8.50
大学入学共通テスト利用型	児童	児童	101	40	101	40	2	0	0	0	50.50
		幼児	6	4	6	4	0	0	0	0	0.00
		計	107	44	107	44	2	0	0	0	53.50
A日程	整復	整復	16	6	14	6	3	2	2	1	4.67
		救急	34	9	34	9	1	1	1	1	34.00
		計	50	15	48	15	4	3	3	2	12.00
B日程	整復	整復	11	4	9	4	1	1	0	0	9.00
		救急	7	2	7	2	1	1	1	1	7.00
		計	18	6	16	6	2	2	1	1	8.00
C日程	整復	整復	9	3	8	3	1	0	1	0	8.00
		救急	20	4	18	4	1	0	1	0	18.00
		計	29	7	26	7	2	0	2	0	13.00
大学入学共通テスト利用型	整復	整復	7	2	5	2	1	1	0	0	5.00
		救急	26	6	25	6	1	1	0	0	25.00
		計	33	8	30	8	2	2	0	0	15.00

特別選抜

選抜区分	学科	志願者数		受験者数		一次合格者数		二次受験者数		合格者数		入学者数		競争率
		合計	女性	合計	女性	合計	女性	合計	女性	合計	女性	合計	女性	
帰国生選抜	マネ	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1.00
外国人留学生選抜	体育	6	0	6	0	5	0	5	0	2	0	0	0	3.00
	健康	2	0	2	0	2	0	2	0	1	0	0	0	2.00
	マネ	2	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0.00
英語外部資格選抜	体育	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	1.00
リカレント選抜	体育	2	1	2	1	1	0	1	0	1	0	0	0	2.00

※志願のあった特別選抜の学科のみ記載。

一般選抜合格者 学科・コース別平均点

A日程

科目	学部/学科		スポーツ文化学部		スポーツマネジメント学部		児童スポーツ教育学部		保健医療学部	
	体育	健康	国際	マネ	ライフ	児童	幼児	整復	救急	
国語	82.8	73.7	76.1	83.7	73.2	82.8	92.0	73.7	86.0	
英語	62.3	50.0	56.5	60.6	54.6	60.3	54.0	64.7	62.0	
合計	145.1	123.7	132.6	144.3	127.8	143.1	146.0	138.4	148.0	

B日程

科目	学部/学科		スポーツ文化学部		スポーツマネジメント学部		児童スポーツ教育学部		保健医療学部	
	体育	健康	武道	国際	マネ	ライフ	児童	幼児	整復	救急
国語	63.7	54.6	59.5	59.8	65.5	54.1	56.0	75.0	70.0	57.0
英語	68.2	49.9	54.8	58.0	60.6	50.0	60.9	82.0	86.0	65.0
合計	131.9	104.5	114.3	117.8	126.1	104.1	116.9	157.0	156.0	122.0

C日程

科目	学部/学科		スポーツ文化学部		スポーツマネジメント学部		児童スポーツ教育学部		保健医療学部	
	体育	健康	国際	マネ	ライフ	児童	整復	救急		
国語	88.2	74.9	82.3	83.1	77.4	88.0	100.0	83.0		
英語	74.7	55.7	63.7	73.4	61.6	66.0	78.0	79.0		
合計	162.9	130.6	146.0	156.5	139.0	154.0	178.0	162.0		

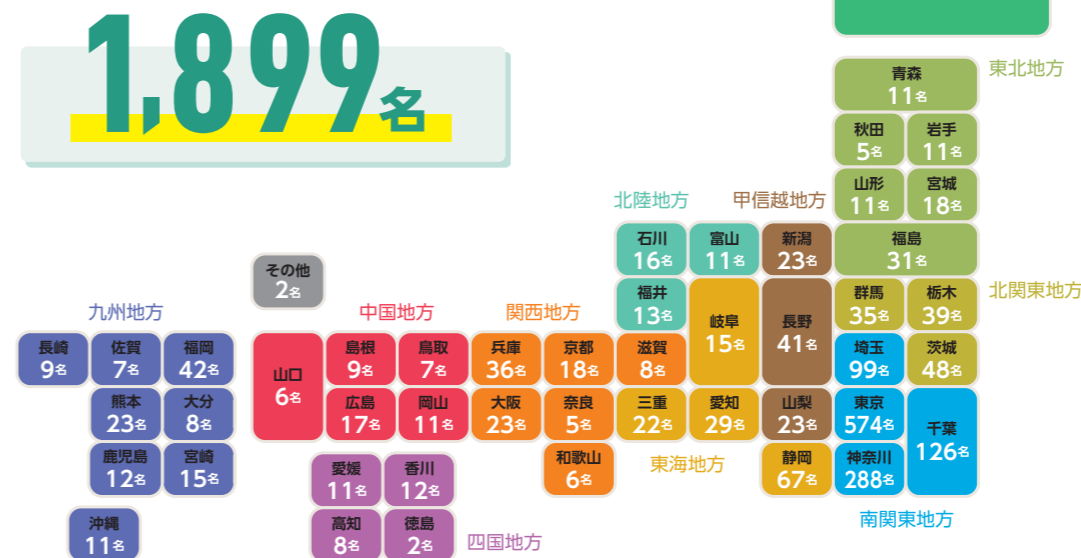
大学入学共通テスト利用型

科目	学部/学科		スポーツ文化学部		スポーツマネジメント学部		児童スポーツ教育学部		保健医療学部	
	体育	健康	武道	国際	マネ	ライフ	児童	整復	救急	
国語	84.9	76.0	79.5	66.5	83.5	81.5	83.5	72.0	79.0	
英語	70.2	74.2	61.0	72.5	78.5	65.5	73.5	64.0	60.0	
選択科目	79.5	75.2	71.0	73.5	77.5	75.0	79.0	51.0	77.0	
合計	234.6	225.4	211.5	212.5	239.5	222.0	236.0	187.0	216.0	

総合型選抜 運動適性型 歴代最高記録

各種目	最高記録		加速走	立ち5段跳び	メディシンボール投げ	20mシャトルラン	3コーンドリル
	男子	3.03秒	15m40cm	15m23cm	157回	6.44秒	
女子	3.56秒	11m60cm	9m54cm	119回	7.36秒		

2023年度都道府県別入学者数



オープンキャンパス2023

[開催時間] 10:30~15:00(受付開始 10:00~) 予定

※開催日時は追加・変更になる場合があります。

東京・
世田谷キャンパス

6/4日

8/11金祝 12土 13日

12/10日

2024
3/24日

横浜・
健志台キャンパス

7/22土 23日

9/10日

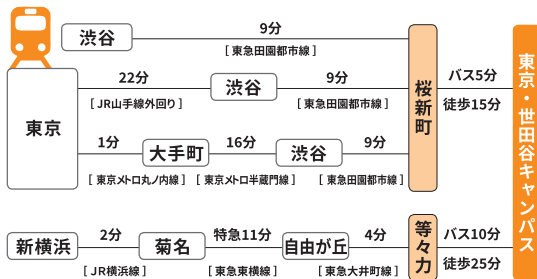
進路相談会

各地で開催される進路相談会については
本学HPよりご確認ください。



入学者選抜会場

東京・世田谷キャンパス



東急田園都市線「桜新町」駅より、徒歩15分またはバス5分

①「目黒駅前」行、②「都立大学駅北口」行 いずれも「日本体育大学前」にて下車

東急大井町線「等々力」駅より、徒歩25分またはバス10分

③「成城学園前駅」行、「日本体育大学前」にて下車

〒158-8508 東京都世田谷区深沢7-1-1

TEL:03-5706-0900(代) / FAX:03-5706-0823

一般選抜 サテライト会場

一般選抜(A日程・B日程・C日程)において、本学会場(東京・世田谷キャンパス)と併せて、サテライト会場を設けます。試験は本学会場及びサテライト会場ともに同日程、同時刻に実施します。どの試験会場で受験しても、合否に影響は一切ありませんので最寄りの試験会場で受験してください。

札幌会場

アスティ45

〒060-0004 北海道札幌市中央区北4条西5丁目

大阪会場

AP大阪梅田東 日本生命梅田ビル

〒530-0027 大阪府大阪市北区堂山町3-3

高崎会場

エテルナ高崎

〒370-0841 群馬県高崎市栄町22-30

名古屋会場

名城大学 天白キャンパス

〒468-8502 愛知県名古屋市中白区塩釜口1-501

入学願書の入手方法

2024年度 日本体育大学 学生募集要項 **無料**

総合型選抜	学校推薦型選抜	一般選抜 (大学入学共通テスト利用型含む)	特別選抜
7月中旬頃、日本体育大学ホームページ上に掲載予定。 https://www.nittai.ac.jp		12月上旬頃、日本体育大学ホームページ上に掲載予定。 https://www.nittai.ac.jp	7月中旬頃、日本体育大学ホームページ上に掲載予定。 https://www.nittai.ac.jp



日本体育大学
Nippon Sport Science University

入学者選抜に関するお問い合わせ先

アドミッションセンター

E-mail: nyushi2023@nittai.ac.jp

東京・世田谷キャンパス

〒158-8508 東京都世田谷区深沢7-1-1

Tel: 03-5706-0910 Fax: 03-5706-0819

日体大

検索

<https://www.nittai.ac.jp>